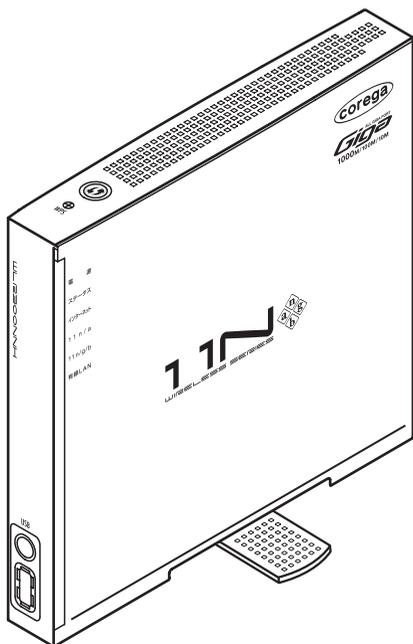
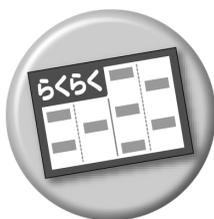
CG-WLR300NNH
CG-WLR300NNH-U
お使いの手引き

Contents

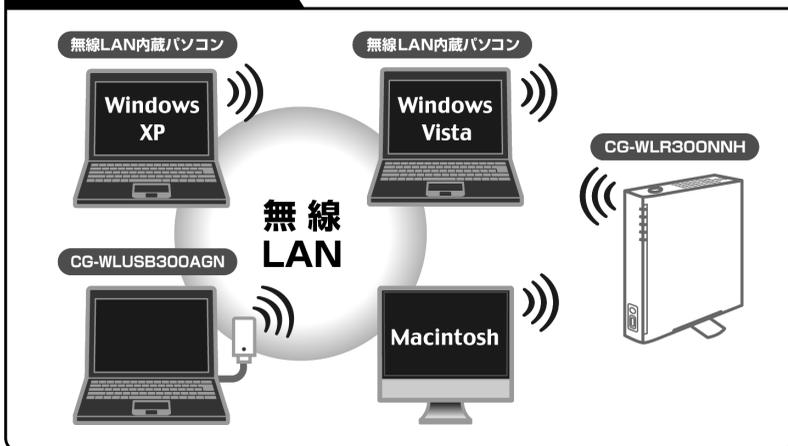
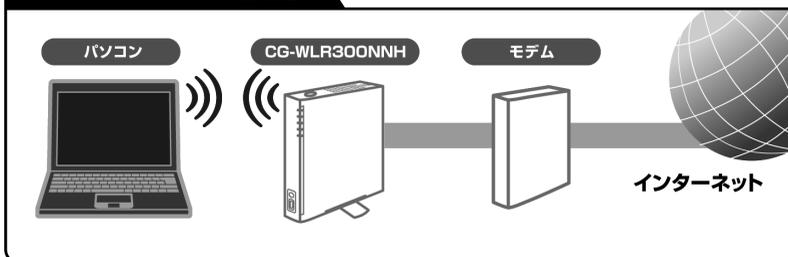
5.2GHz 、5.3GHz帯の電波を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。IEEE802.11n（ドラフト）/a（W52/W53）は、屋外で使用することができませんのでご注意ください。

Y613-18975-01 Rev.B

「らくらく導入ガイド」でできること

まずは

無線LANで接続したい！

インターネットに接続したい！

無線LANで接続

インターネットに接続

無線＆インターネットへの接続完了!!

「お使いの手引き（本書）」でできること

本商品でできることを知りたい！
パソコンやネットワーク機器をつなげたい！

2台目のパソコンを接続

>>> 第2章

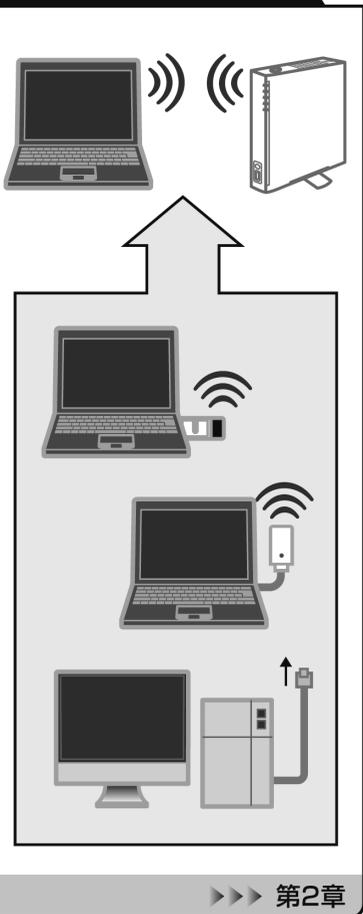
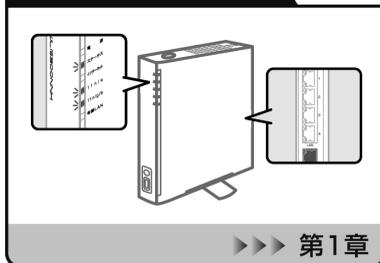
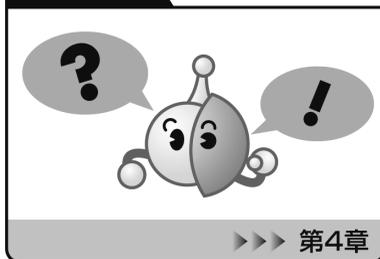
各部の名称と働き

>>> 第1章

機　能

>>> 第3章

Q＆A

>>> 第4章

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例）

「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例）

「電源プラグをコンセントから抜く」

警告

家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。

感電、発煙、火災、故障の原因となります。

付属の電源ケーブルまたは AC アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたは ACアダプタをほかの機器に使用しないでください。

感電、発煙、火災、故障の原因となります。

⚠警告

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。
また､電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜くときは､ケーブル部を持って抜かないでください。

電源ケーブルまたは AC アダプタのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災の原因となります。

アース線を接続してください。
本商品または電源ケーブルにアース端子が付いている場合は、アース線を接続してください。アース線を接続しないと、感電、けが、火災、故障の原因となります。

本商品（AC アダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。

煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたはAC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

本商品の通風孔から液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。
感電の原因となります。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。
感電の原因となります。

小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。
けがの原因となります。

⚠警告

梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。

窒息する原因となります。

不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。

けが、故障の原因となります。

本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。

本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

本商品（AC アダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。

・多段積み

・通風孔をふさぐ

・前後左右、上部に十分なスペースがない

内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。

また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。

⚠注意

本商品を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。

- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなど高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所
- 水などの液体がかかる場所
- 振動のある場所
- ほこりの多い場所
- じゅうたんや布団などのある場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 台所、浴室、ユニットバス、洗面所など、水気や湿気が多い場所
- 天井裏、クローゼットの中など、高温、多湿、風通しの悪い場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

感電、火災、故障の原因となります。

お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品（AC アダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

設置または移動するときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

感電、火災の原因となります。

長期間使用しないときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

火災の原因となります。

本商品に強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

静電気が発生しやすい場所に設置したり、帯電した手で本商品を触らないでください。

感電、故障の原因となります。

無線商品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ずP.4「安全にお使いいただくためにお読みください」をお読みください。

・心臓ペースメーカの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
・医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
・電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯（2.4GHz 帯）では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2　万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、コレガサポートセンタにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3　その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コレガサポートセンタへ問い合わせください。

本商品の次の記載は、この無線機器が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式として DS-SS と OFDM 変調方式を採用、想定される干渉距離は 40m であることを表します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

2.4DS/OF4
▬▬▬

2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。

DS/OF　：DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。

4　：想定される干渉距離が 40m 以下を表します。

■■■　：全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

本商品は、5GHz 帯の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯の電波を屋外で使用することは電波法により禁止されています。

本商品が使用する IEEE802.11a と IEEE802.11n（ドラフト）のチャンネルは36、40、44、48ch（W52）と52、56、60、64ch（W53）と 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch（W56）です。34、38、42、46ch（J52）を使用する無線機器（アクセスポイントやクライアント）とは通信できません。

W52（5.2GHz 帯　36、40、44、48ch）が利用できます。

W53（5.3GHz 帯　52、56、60、64ch）が利用できます。

W56（5.6GHz 帯　100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）が利用できます。

W53、W56 を使用する場合は、法令により次のような制限があります。

- 各チャンネルの通信開始前に、1 分間レーダー波を検出します。その間は通信できません。
- 通信中にレーダー波を検出した場合、自動的にチャンネルを変更します。その間は通信が中断されることがあります。

■セキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

・ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報

・メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

はじめに

このたびは、「CG-WLR300NNH」または「CG-WLR300NNH-U」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		**補足事項や参考となる情報を説明しています。**

■表記について

本商品	CG-WLR300NNH のことです。
無線LANアダプタ	CG-WLUSB300AGN のことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system

※本書では、複数の OS を「Windows Vista/XP」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる際にはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

○らくらく導入ガイド

はじめて本商品を接続するときにお読みいただく説明書です。

○お使いの手引き（本書）

安全にお使いいただくためのご注意、お使いの環境に合わせた本商品の設定方法、使用方法について説明しています。また、P.83「第 4 章　トラブル解決と Q&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

○ニンテンドー DS・Wii を接続する

ニンテンドー DS と Wii の詳しい接続方法について説明しています。

○詳細設定ガイド（コレガホームページからダウンロードできる PDF マニュアル）

本商品の Web 設定画面の詳細説明や、詳しい設定方法、使用方法について説明しています。「詳細設定ガイド」の入手方法は、P.125「4.4.10　もっと詳しい取扱説明書を入手したい」をご覧ください。

○無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド（CG-WLR300NNH-U のみ）

（ユーティリティディスクに収録の PDF マニュアル）

セット品に付属している CG-WLUSB300AGN の詳しい設定方法、使用方法について説明しています。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などついて説明しています。本書の構成は次のとおりです。

■第 1 章　お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

■第 2 章　複数のネットワーク機器を接続する

この章では、お使いのネットワーク機器が複数ある場合の説明をしています。

■第 3 章　本商品を使いこなす

この章では、本商品の便利な機能について説明しています。

■第 4 章　トラブル解決と Q&A

この章では、トラブルの対処法やよくある質問について説明しています。

付属品一覧

本商品をご使用になる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

CG-WLR300NNH

- □ CG-WLR300NNH本体
- □ ACアダプタ（2極1.5m）
- □ 壁掛け用ネジセット（アンカ×2、ネジ×2）
- □ LANケーブル（1.5m）
- □ らくらく導入ガイド
- □ お使いの手引き（本書）
- □ ニンテンドーDS・Wiiを接続する
- □ 電波干渉注意ラベル
- □ 製品保証書

CG-WLR300NNH-U

- □ CG-WLR300NNH本体
- □ CG-WLUSB300AGN本体
- □ ACアダプタ（2極1.5m）
- □ ユーティリティディスク（CD-ROM）
- □ 壁掛け用ネジセット（アンカ×2、ネジ×2）
- □ LANケーブル（1.5m）
- □ USBフレキシブルケーブル（15cm）※
- □ らくらく導入ガイド
- □ お使いの手引き（本書）
- □ ニンテンドーDS・Wiiを接続する
- □ 電波干渉注意ラベル
- □ 製品保証書

※ CG-WLUSB300AGNをパソコンに接続するときにお使いください。

目次

第 1 章
お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

1.1　本商品の特長

本商品は、IEEE802.11n（ドラフト）、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE 802.11b に準拠した無線ブロードバンドルータです。本商品には次のような特長があります。

- **5GHz 帯と 2.4GHz 帯の同時通信に対応**

  電波干渉の少ない 5GHz 帯（IEEE802.11n（ドラフト）/a）と、普及している2.4GHz帯(IEEE802.11n(ドラフト)/g/b)の無線LANを、同時に使用できます。

- **高速無線通信規格 IEEE802.11n（ドラフト）に対応**

  40MHz のダブルチャンネルを使うことで、通信速度は 300Mbps（理論値）に対応します。また、既存の IEEE802.11a/g/b 製品とも互換性があります。

- **USB ストレージの接続に対応**

  対応する USB ストレージを接続して、ネットワーク上で共有できます。簡易 NAS（Network Attached Storage）としてお使いください。

- **メディアサーバ機能を搭載**

  USB ストレージに保存している写真、音楽、動画データを、同じネットワーク上の機器から再生できる機能です。詳しくは、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。

  ☞ P.125 「4.4.10　もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

- **iTunes サーバ機能を搭載**

  USB ストレージに保存している音楽データを、同じネットワーク上のパソコンの iTunes から再生できる機能です。詳しくは、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。

  ☞ P.125 「4.4.10　もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

- **WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応**

  無線 LAN の設定方法に、世界標準の Wi-Fi 規格「WPS」（Wi-Fi Protected Setup）を採用します。同じ「WPS」を採用している無線 LAN アダプタと、ボタン 1 つで簡単に無線通信と暗号化を設定できます。

- **最新セキュリティに対応**

  最新の無線 LAN セキュリティである WPA・WPA2 のほか、従来の WEP にも対応します。

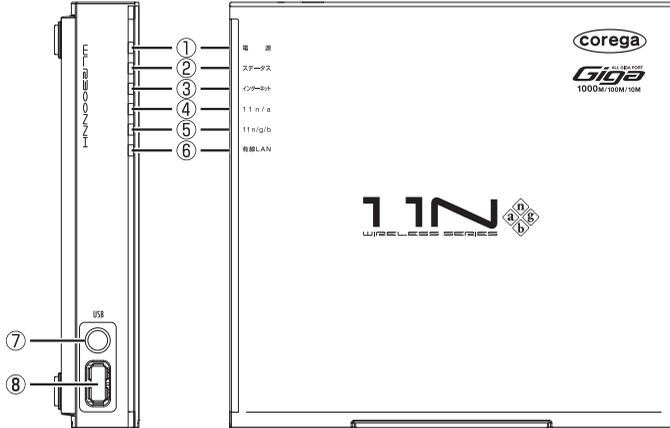
- **マルチ AP 機能対応**

  通常の SSID（ファーストSSID）に加え、セカンド SSID を使用することで、高度なセキュリティを要求する機器と、WEP のみ対応した機器との接続が両立できます。

1.2　各部の名称と機能

各部の名称と働きを説明します。

1.2.1　CG-WLR300NNH

■前面／右側面

①電源 LED（緑／橙）

本商品の電源の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	本商品の電源が入っています。
橙	点灯	エコピタ LED 消灯モードが有効になっています。 P.62 「3.4 エコピタ LED 消灯モードを設定する」
－	消灯	本商品の電源が入っていません。

②ステータス LED（赤）

本商品のセルフテストの結果を表示します。

電源を入れてからしばらくするとステータスLEDが点灯します。電源を入れてから 3分以上経ってもステータス LED が点灯したままになった場合は、セルフテストに失敗しています。その場合は、電源を入れ直してください。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点灯	セルフテスト中です。
ー	消灯	次のいずれかの状態です。 ・セルフテストの結果、正常に動作している ・エコピタ LED 消灯モードが有効になっている ☞ P.62「3.4 エコピタLED消灯モードを設定する」

③インターネット LED（緑）

インターネットへの接続状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	インターネットに接続しています。
緑	点滅	接続に失敗しています。
ー	消灯	次のいずれかの状態です。 ・インターネットに接続していない ・ルータ機能が OFF（無効）になっている ・エコピタ LED 消灯モードが有効になっている ☞ P.62「3.4 エコピタLED消灯モードを設定する」

④ 11n/a LED（緑）

802.11n/a（5GHz 帯）の無線 LAN の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	802.11n/a（5GHz 帯）の無線通信ができる状態です。
緑	点滅	802.11n/a（5GHz 帯）の無線通信中です。
―	消灯	次のいずれかの状態です。 ・802.11n/a（5GHz 帯）の無線通信ができない ・802.11n/a（5GHz 帯）の無線通信が停止している P.63「3.5　無線スケジュール停止機能を使う」 ・エコピタ LED 消灯モードが有効になっている P.62「3.4　エコピタLED 消灯モードを設定する」

⑤ 11n/g/b LED（緑）

802.11n/g/b（2.4GHz 帯）の無線 LANの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	802.11n/g/b(2.4GHz 帯)の無線通信ができる状態です。
緑	点滅	802.11n/g/b（2.4GHz 帯）の無線通信中です。
―	消灯	次のいずれかの状態です。 ・802.11n/g/b（2.4GHz 帯）の無線通信ができない ・802.11n/g/b(2.4GHz 帯)の無線通信が停止している P.63「3.5　無線スケジュール停止機能を使う」 ・エコピタ LED 消灯モードが有効になっている P.62「3.4　エコピタLED 消灯モードを設定する」

⑥有線LAN LED（緑）

有線 LAN の状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	本体背面の１～４ポートのいずれかのLANポートに、LANケーブルが接続されています。
緑	点滅	通信中です。
ー	消灯	次のいずれかの状態です。 ・LAN ケーブルが接続されていない ・エコピタ LED 消灯モードが有効になっている ☞ **P.62**「3.4 エコピタLED消灯モードを設定する」

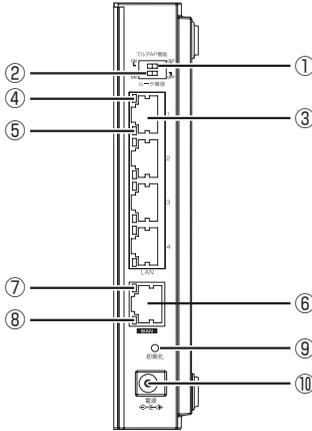
⑦USB ボタン／ USB LED（緑）

USB ストレージを取り外すためのボタンです。USB ボタンの周りにある USB LED で、USB ストレージの接続状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	USB ストレージが接続され、使用できる状態です。
ー	消灯	次のいずれかの状態です。 ・USB ストレージが接続されていない ・USB ストレージを取り外せる

⑧USB ポート

USB ストレージを接続できます。詳しくは、**P.73**「3.8 USB ストレージを共有する」をご覧ください。

■背面

①マルチ AP 機能スイッチ

SSID を 2 つに分け、無線のセキュリティ設定を使い分けられます。

スイッチの状態	本商品の状態
← ON ON ▯ OFF	マルチAP機能を使用します。 ファーストSSIDとセカンドSSIDの2つのSSIDを使用できます。
OFF → ON ▯ OFF	マルチAP機能を使用しません。 ファーストSSIDのみ使用できます。

マルチ AP 機能スイッチは、必ず本商品の電源を切った状態で操作してください。

☞ **P.70**「3.7 マルチ AP 機能を使う」

②ルータ機能スイッチ

ルータ機能を設定できます。通常は ON（初期設定）のままでお使いください。

スイッチの状態	本商品の状態
← ON ON OFF	ルータ機能のオン（有効）またはオフ（無効）を、「簡単設定」で自動的に設定したり、設定画面で手動で設定したりできます。 本商品のIPアドレスは「192.168.1.1」（初期値）です。 ・「簡単設定」で設定する 「らくらく導入ガイド」（付属） ・設定画面で設定する 「詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）
OFF → ON OFF	ルータ機能を強制的にオフ（無効）にしたい場合に設定します。 本商品のIPアドレスは「192.168.1.220」（初期値）になります。

ルータ機能スイッチは、必ず本商品の電源を切った状態で操作してください。

③LAN ポート（黄）

パソコンやスイッチングハブを接続するためのポートです。

④LAN ポート 1000M LED（緑）

LAN ポートの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	1000Mbps でリンクが確立しています。
緑	点滅	1000Mbps で通信中です。
ー	消灯	次のいずれかの状態です。 ・LAN ケーブルが接続されていない ・100Mbps または 10Mbps でリンクが確立している ・100Mbps または 10Mbps で通信している

⑤ LAN ポート 100M/10M LED（橙）

LAN ポートの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
橙	点灯	100Mbps または 10Mbps でリンクが確立しています。
橙	点滅	100Mbps または 10Mbps で通信中です。
ー	消灯	次のいずれかの状態です。 ・LAN ケーブルが接続されていない ・1000Mbps でリンクが確立している ・1000Mbps で通信している

⑥ WAN ポート（青）

モデムや光回線終端装置（ONU）など、既存のネットワークの上位回線（インターネット）に接続するためのポートです。

⑦ WAN ポート 1000M LED（緑）

WAN ポートの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	1000Mbps でリンクが確立しています。
緑	点滅	1000Mbps で通信中です。
ー	消灯	次のいずれかの状態です。 ・LAN ケーブルが接続されていない ・100Mbps または 10Mbps でリンクが確立している ・100Mbps または 10Mbps で通信している

⑧ WAN ポート 100M/10M LED（橙）

WAN ポートの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
橙	点灯	100Mbps または 10Mbps でリンクが確立しています。
橙	点滅	100Mbps または 10Mbps で通信中です。
ー	消灯	次のいずれかの状態です。 ・LAN ケーブルが接続されていない ・1000Mbps でリンクが確立している ・1000Mbps で通信している

⑨初期化ボタン

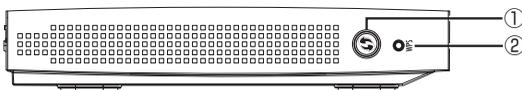
本商品の設定内容を工場出荷時の状態（初期値）に戻します。詳しくは、P.122「4.4.6 本商品を工場出荷時の状態に戻したい」をご覧ください。

⑩ DC ジャック

付属の専用 AC アダプタを接続するためのコネクタです。

・本商品には必ず付属の専用 AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。

・本商品に付属の専用 AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。

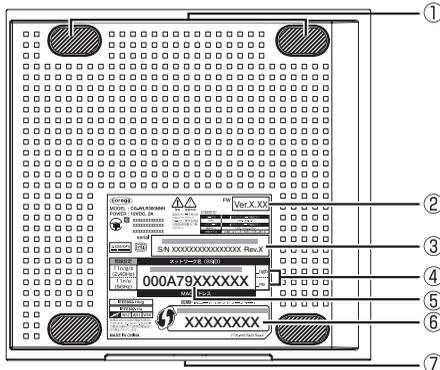
■上面

① WPS ボタン

WPS（Wi-Fi Protected Setup）を設定するためのボタンです。

② WPS LED（緑）

WPS の設定状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点滅	WPS を設定中です。
－	消灯	WPS が動作中、または未設定です。

■左側面

①ゴム足

本商品を横置きにする場合にお使いください。

②ファームウェアバージョン

工場出荷時のファームウェアのバージョンが記載されています。

③シリアル番号／リビジョン

シリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへのお問い合わせのときに必要となります。

④ネットワーク名（SSID）

本商品のIEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz帯）とIEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）のネットワーク名（SSID）が記載されています。

⑤ MAC アドレス

本商品の WAN 側の MAC アドレスが記載されています。

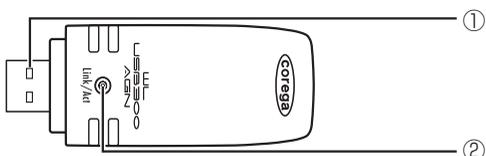
⑥初期 PIN コード（ネットワークキー）

本商品の無線 LAN セキュリティの初期 PIN コード（初期値）が記載されています。

⑦スタンド

本商品を縦置きする場合にお使いください。

1.2.2　CG-WLUSB300AGN（CG-WLR300NNH-U のみ）

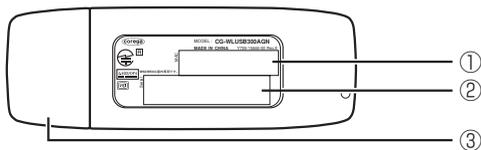
■前面

① USB プラグ

パソコンの USB ポートに取り付けます。

② Link/Act LED（緑）

接続状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	接続しています。
緑	点滅	通信中です。
ー	消灯	接続していません。

■背面

① MAC アドレス

MAC アドレスが記載されています。

②シリアル番号／リビジョン

シリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへのお問い合わせのときに必要になります。

③キャップ

使用しないときに装着して、USB プラグを保護します。

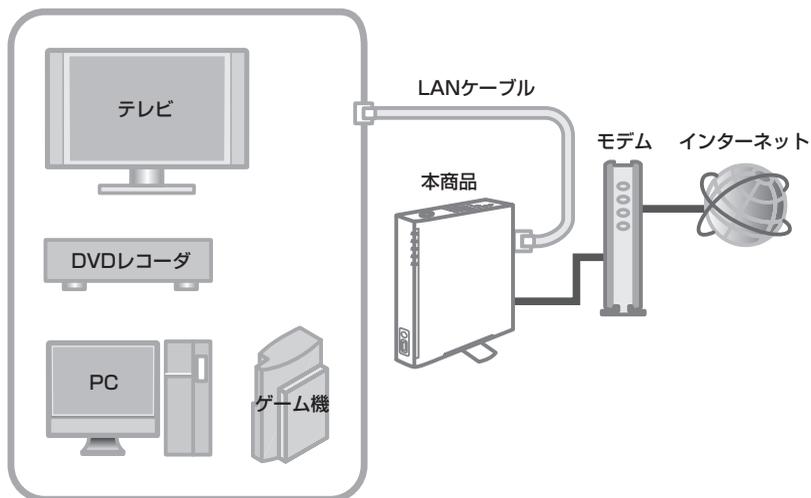
第 2 章
複数のネットワーク機器を接続する

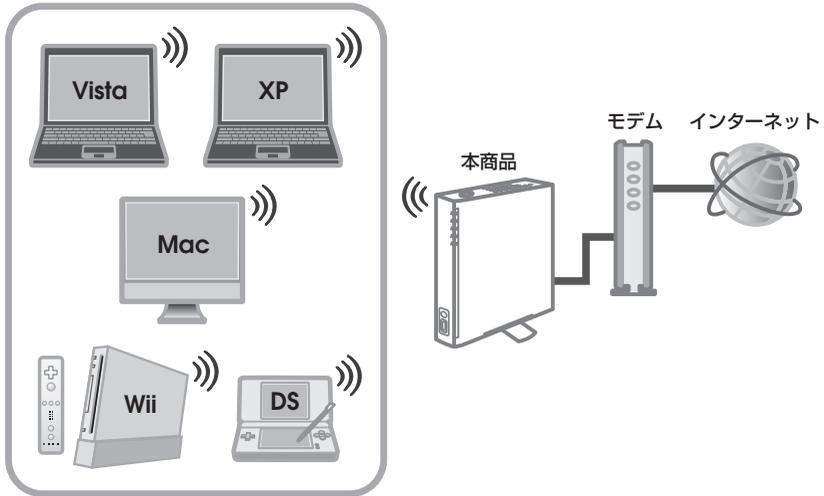
この章では、お使いのネットワーク機器が複数ある場合の説明をしています。

2.1　本商品に複数のネットワーク機器を接続する

お使いのネットワーク機器（ネットワーク対応のパソコン・デジタル家電・ゲーム機など）が複数台ある場合は、機器に合わせて接続します。

- はじめに付属の「らくらく導入ガイド」をご覧になり、1台目の設定用パソコンで本商品に無線LAN接続して、インターネット接続を設定してください。
- 2 台目以降のネットワーク機器（パソコン、デジタル家電、ゲーム機など）を無線LAN で接続するには、本章の手順をご覧ください。2 台目以降では、インターネット接続を設定する必要はありません。

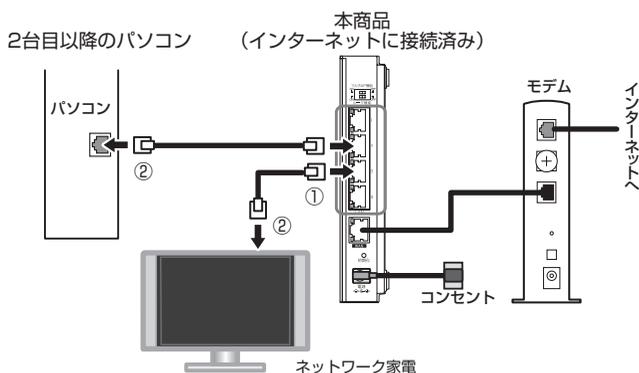
■ネットワーク機器を LAN ケーブル（有線 LAN）で接続する場合

☞ P.34 「2.2 ネットワーク機器を LAN ケーブル（有線 LAN）で接続する」

■ネットワーク機器を無線 LAN で接続する場合

☞ **P.35**「2.3 Windows Vista を内蔵無線 LAN で接続する」
☞ **P.39**「2.4 Windows XP を内蔵無線 LAN で接続する」
☞ **P.45**「2.5 Macintosh を内蔵無線 LAN（AirMac）で接続する」
☞ **P.48**「2.6 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する」
☞ **P.49**「2.7 ゲーム機を無線 LAN で接続する」

2.2 ネットワーク機器をLANケーブル（有線LAN）で接続する

お使いのネットワーク機器にLANポートがある場合は、次の図を参考にLANケーブルで本商品に接続します。

- パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。詳しくは、P.100「■ パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認する」をご覧ください。
- お使いのパソコンがプロキシサーバを使用していないことを確認してください。詳しくは、P.94「■ プロキシサーバを使用していないことを確認する」をご覧ください。
- 1000Mbps（ギガビットイーサネット）対応のネットワーク機器を接続する場合は、エンハンスド・カテゴリ5以上のUTPケーブルをお使いください。

- 複数台のネットワーク機器を接続する場合は、本商品付属のLANケーブルとは別に、接続するネットワーク機器の台数だけ別途LANケーブルをご用意ください。
- 本商品に接続するネットワーク機器の詳しい接続方法は、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。

1 本商品のLANポートにLANケーブルを接続します（①）。

2 LANケーブルのもう一方をネットワーク機器のLANポートに接続します（②）。

以上で、LANケーブル（有線LAN）でのネットワーク機器との接続は完了です。

2.3　Windows Vista を内蔵無線 LAN で接続する

お使いの OS が Windows Vista で内蔵無線 LAN を搭載している場合、次の手順で本商品に接続します。この手順は Windows 標準の接続方法です。

- お使いのパソコンによっては、メーカ独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。その場合は、P.48 「2.6 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する」の情報をもとに、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり本商品に接続してください。詳しくは、パソコンのメーカにお問い合わせください。
- お使いのパソコンによっては、備え付けのスイッチで内蔵無線 LAN のオン／オフを切り替えられる場合があります。その場合、内蔵無線 LAN をオンにして本商品に接続してください。
- 本商品は、IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）と IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）を同時に使用できます。詳しくは、P.68「3.6 802.11n/g/b と 802.11n/a を使い分ける」をご覧ください。
- IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）または IEEE 802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）に接続するには、お使いのネットワーク機器が対応している必要があります。対応していない環境では、ネットワーク名（SSID）は表示されません。

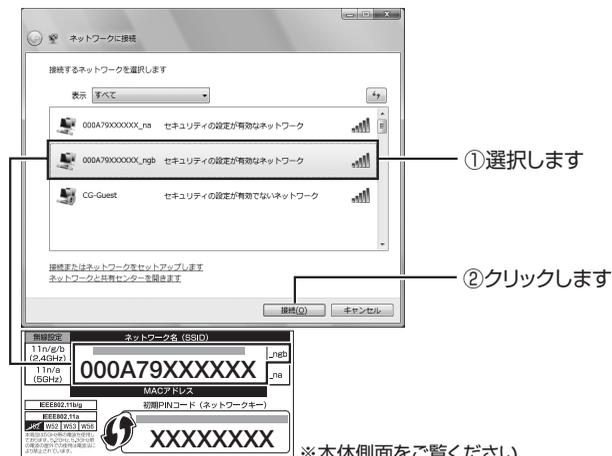
1　［スタート］－「接続先」の順にクリックします。

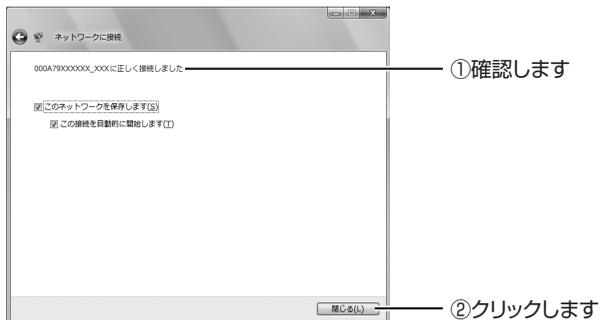
2　一覧から本商品の「ネットワーク名（SSID）」を選択し、［接続］をクリックします。

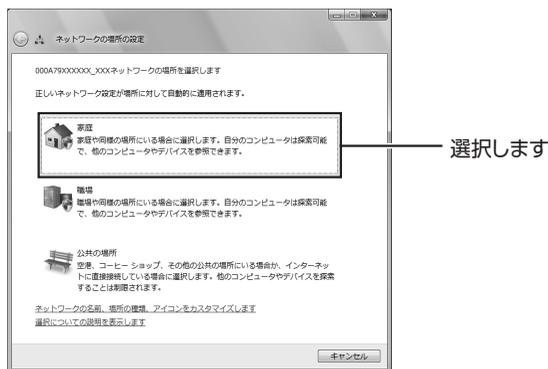
○ IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）の場合

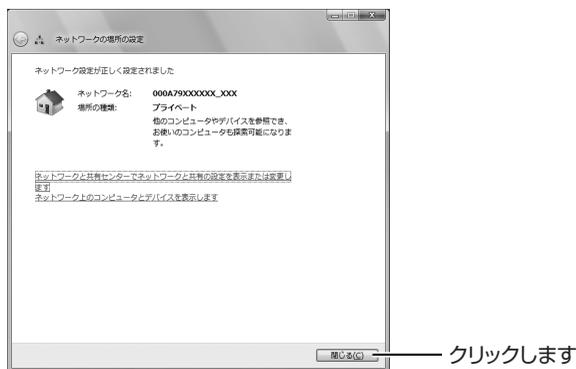
※本体側面をご覧ください

○ IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）の場合

※本体側面をご覧ください

3　「セキュリティキーまたはパスフレーズ」に「初期 PIN コード（ネットワークキー）」を入力し、［接続］をクリックします。

4　「000A79XXXXXX_XXX に正しく接続しました」（XXXXXX_XXX は手順２で選択したネットワーク名）と表示されたことを確認して、［閉じる］をクリックします。

「このネットワークを保存します」および「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けると、パソコンを起動したときに自動的にネットワーク接続します。

5 次の画面が表示される場合は、「家庭」を選択します。

6 「ユーザーアカウント制御」画面で、[続行] をクリックします。

7 「ネットワーク設定が正しく設定されました」と表示されます。[閉じる] をクリックします。

以上で、Windows Vista の内蔵無線 LAN での接続は完了です。

以上の手順で本商品に接続できなかった場合は、P.112「4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない」をお試しください。

2.4　Windows XP を内蔵無線 LAN で接続する

お使いの OS が Windows XP で内蔵無線 LAN を搭載している場合、次の手順で本商品に接続します。この手順は Windows 標準の接続方法です。

・お使いのパソコンによっては、メーカ独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。その場合は、P.48「2.6 そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する」の情報をもとに、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり本商品に接続してください。詳しくは、パソコンのメーカにお問い合わせください。

・お使いのパソコンによっては、備え付けのスイッチで内蔵無線 LAN のオン／オフを切り替えられる場合があります。その場合、内蔵無線 LAN をオンにして本商品に接続してください。

・本商品は、IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）と IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）を同時に使用できます。詳しくは、P.68「3.6 802.11n/g/b と 802.11n/a を使い分ける」をご覧ください。

・IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）または IEEE 802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）に接続するには、お使いのネットワーク機器が対応している必要があります。対応していない環境では、ネットワーク名（SSID）は表示されません。

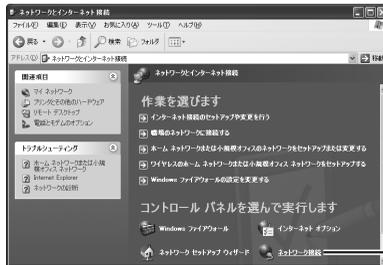
2

2.4.1　接続の前に

次の手順で Windows XP の「ワイヤレスネットワーク」が有効になっていることを確認します。

1　**［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。**

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をダブルクリックして、手順 4に進みます。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。

4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

5　**ワイヤレスネットワークタブをクリックし、「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックを付けて、「優先ネットワーク」に表示された必要でないネットワークを削除してから［OK］をクリックします。**

お使いのパソコンでメーカ独自の無線接続ソフトを使用している場合、「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」の項目がないことがあります。そのときは、P.48「2.6　そのほかのネットワーク機器を無線LANで接続する」の情報をもとに本商品に接続してください。詳しくは、パソコンのメーカにお問い合わせください。

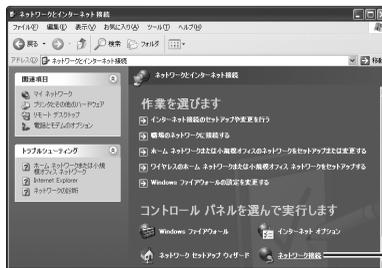
お使いのパソコンで、すでに本商品以外で無線LAN接続をしていて、今後も継続してお使いになる場合は、その項目を残し、それ以外の必要でない項目をすべて削除するまで③～④を繰り返します。

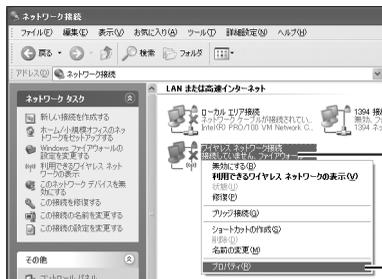
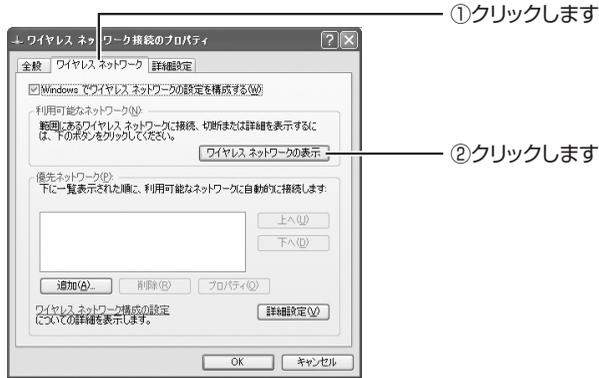
2.4.2　接続の手順

引き続き、次の手順で本商品と接続します。

1　**［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。**

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

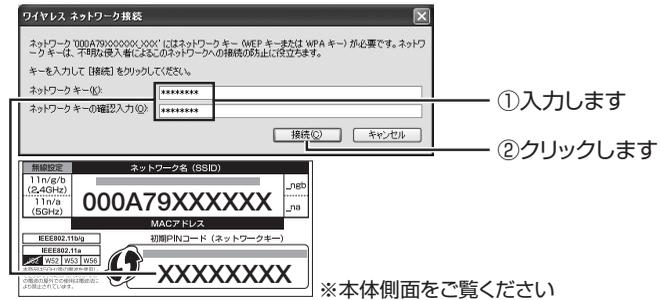
クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をダブルクリックして、手順 4に進みます。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。

4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5　ワイヤレスネットワークタブをクリックし、［ワイヤレスネットワークの表示］をクリックします。

6　一覧から本商品の「ネットワーク名（SSID）」を選択し、［接続］をクリックします。

○IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）の場合

※本体側面をご覧ください

○ IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）の場合

7 ネットワークキーに「初期 PIN コード（ネットワークキー)」を入力し、[接続］をクリックします。

8 接続が完了すると「接続」と表示されます。

以上で、Windows XP の内蔵無線 LAN での接続は完了です。

以上の手順で本商品に接続できなかった場合は、P.112「4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない」をお試しください。

2.5　Macintosh を内蔵無線 LAN(AirMac)で接続する

お使いの環境が Macintosh で内蔵無線 LAN（AirMac）を搭載している場合は、次の手順で本商品に接続します。

メモ
- 画面は Mac OS X 10.5 の例です。お使いの環境によって画面が多少異なる場合があります。
- 本商品は、IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）と IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）を同時に使用できます。詳しくは、P.68「3.6 802.11n/g/b と 802.11n/a を使い分ける」をご覧ください。
- IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）または IEEE 802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）に接続するには、お使いのネットワーク機器が対応している必要があります。対応していない環境では、ネットワーク名（SSID）は表示されません。

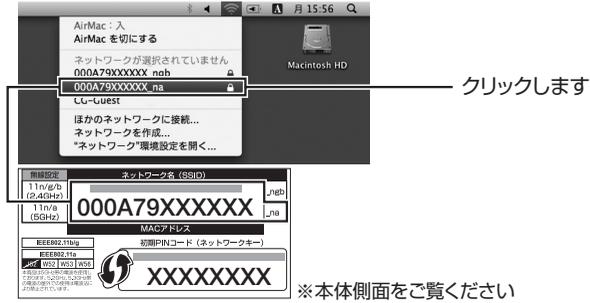
2

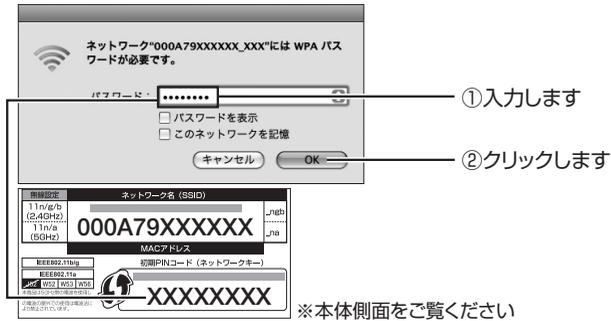
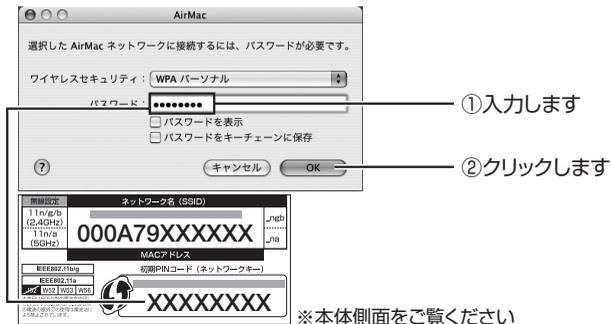
2.5.1　接続の手順

1　画面右上のタスクバーにある をクリックします。

2　一覧から本商品の「ネットワーク名（SSID）」をクリックします。

○ IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）の場合

○ IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）の場合

3 パスワードに「初期 PIN コード（ネットワークキー）」を入力し、［OK］をクリックします。

○ Mac OS X 10.5 の場合

○ Mac OS X 10.4 の場合

4　**接続が完了すると　→　になります。**

以上で、Macintosh の内蔵無線 LAN（AirMac）での設定は完了です。
引き続き、**P.47**「2.5.2　接続の確認」に進みます。

2.5.2　接続の確認

引き続き、次の手順で接続を確認します。

1　**「アップルメニュー」－「システム環境設定」の順にクリックします。**

2　**「ネットワーク」をクリックします。**

3　**本商品に接続していることを確認します。**

以上で、Macintosh の内蔵無線 LAN（AirMac）での接続は完了です。
以上の手順で本商品に接続できなかった場合は、**P.112**「4.2.4 無線 LAN 内蔵パソコンで接続できない」をお試しください。

2.6　そのほかのネットワーク機器を無線 LAN で接続する

次のようなネットワーク機器を設定する方法を説明します。

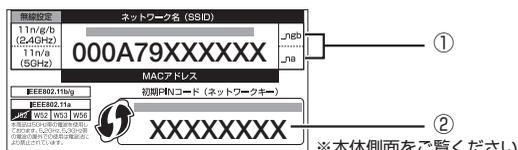
・WPS 未対応のコレガ無線 LAN アダプタをお使いの場合

・他メーカの無線 LAN アダプタをお使いの場合

・他メーカ独自の無線接続ソフトお使いの場合

・無線 LAN 対応家電などをお使いの場合

次の手順で本商品に接続します。

1　**「ネットワーク名（SSID）」と「初期 PIN コード（ネットワークキー）」を確認します。**

2　**手順 1 で確認した内容とあわせて、次の表の設定内容をネットワーク機器に設定します。**

設定項目	設定内容（本商品の初期値）	
ネットワーク名（SSID、ESSID）	①2.4GHz帯	000A79XXXXXX_ngb
	①5GHz帯	000A79XXXXXX_na
共有キー（WPA共有キー）	②XXXXXXXX	
認証方式	WPA/WPA2-PSK	
暗号方式	自動（AES/TKIP）	

以上で、ネットワーク機器の無線 LAN 設定は完了です。
お使いのネットワーク機器が無線LANで本商品に接続できることを確認してください。

2.7　ゲーム機を無線 LAN で接続する

お使いのゲーム機が無線 LAN に対応している場合は、次の表を参考にして対応する無線セキュリティを確認します。

ゲーム機	設定できる無線セキュリティ
PLAYSTATION3※1	WEP（64bit/128bit）、WPA-PSK、WPA2-PSK
PSP	WEP（64bit/128bit）、WPA-PSK、WPA2-PSK
Xbox360※2	WEP（64bit/128bit）、WPA-PSK
Wii	WEP（64bit/128bit）、WPA-PSK、WPA2-PSK
ニンテンドーDSi	WEP（64bit/128bit）、WPA-PSK、WPA2-PSK
ニンテンドーDS	WEP（64bit/128bit）

※1　20GB モデルは無線 LAN に対応していません。

※2　別売りの「Xbox360 ワイヤレス LAN アダプター」で無線LAN に対応します。

・ゲーム機によっては、認証方式が Shared Key の場合や暗号キーが ASCII 文字の場合に、本商品と接続できない場合があります。その場合は、ほかのセキュリティを試してください。

・ゲーム機の操作方法などは、各ゲーム機の取扱説明書をご覧いただくか、各メーカにご確認ください。

本商品で設定できる文字は次のとおりです。

・64bit-16 進数（0-9/a-f）

・128bit-16 進数（0-9/a-f）

・64bit-ASCII（半角英数記号）

・128bit-ACSII（半角英数記号）

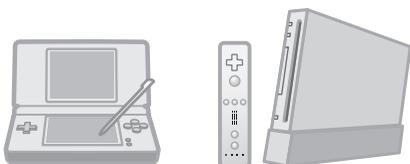
■ **WPA-PSK または WPA2-PSK で接続する**

・PLAYSTATION3、PSP、Xbox360、ニンテンドー DSi の場合

☞ P.51 「2.7.1 WPA-PSK または WPA2-PSK で接続する」

・Wii の場合

付属の「ニンテンドーDS・Wii を接続する」でカラーのイラスト付きで詳しく説明しています。

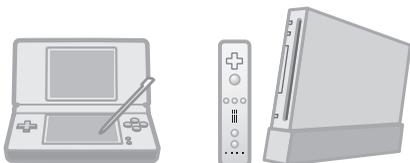
☞「ニンテンドーDS・Wii を接続する」（付属）

■**マルチ AP（セカンド SSID）に接続する**

・PLAYSTATION3、PSP、Xbox360、ニンテンドー DSi の場合

☞ P.52 「2.7.2 マルチ AP（セカンド SSID）に接続する」

・Wii、ニンテンドー DS の場合

付属の「ニンテンドーDS・Wii を接続する」でカラーのイラスト付きで詳しく説明しています。

☞「ニンテンドーDS・Wii を接続する」（付属）

■**マルチ AP（セカンド SSID）に WEP で接続する**

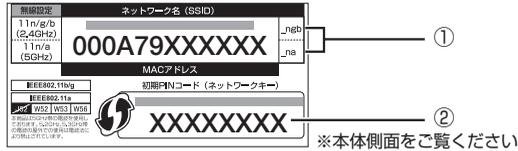
セカンド SSID に WEP を設定することもできます。詳しくは、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。

☞ P.125 「4.4.10 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

2.7.1　WPA-PSK または WPA2-PSK で接続する

ゲーム機を WPA-PSK または WPA2-PSK で接続する場合は、次の手順を参考に、無線 LAN 接続に必要な情報（設定項目と内容）をゲーム機に設定します。

2

1　「ネットワーク名（SSID)」と「初期 PIN コード（ネットワークキー)」を確認します。

2　手順 1 で確認した内容とあわせて、次の表の設定内容をゲーム機に設定します。

設定項目	設定内容（本商品の初期値）	
ネットワーク名（SSID、ESSID）	①2.4GHz帯	000A79XXXXXX_ngb
	①5GHz帯	000A79XXXXXX_na
共有キー（WPA共有キー）	②XXXXXXXX	
認証方式	WPA/WPA2-PSK	
暗号方式	自動（AES/TKIP）	

以上で、ゲーム機の無線 LAN 設定は完了です。
お使いのゲーム機が無線LANで本商品に接続できることを確認してください。

2.7.2　マルチ AP（セカンド SSID）に接続する

ゲーム機をマルチ AP のセカンド SSID に接続する場合は、次の手順を参考に、無線 LAN 接続に必要な情報（設定項目と内容）をゲーム機に設定します。

マルチ AP 機能の詳しい説明は、P.70 「3.7 マルチ AP 機能を使う」をご覧ください。

1　**本商品のマルチ AP 機能スイッチが「ON」になっていることを確認します。**

2　**次の表の設定内容をゲーム機に設定します。**

設定項目	設定内容
ネットワーク名（SSID、ESSID）	CG-Guest
認証方式	Open System
暗号方式	なし

以上で、ゲーム機の無線 LAN 設定は完了です。
お使いのゲーム機が無線LANで本商品に接続できることを確認してください。

第 3 章
本商品を使いこなす

この章では、本商品の便利な機能について説明しています。

3.1　設定画面を表示する

本商品の設定画面を表示するにはWeb ブラウザが必要です。本商品に接続している1 台のパソコンで設定します。Web ブラウザには本商品の推奨ブラウザをご利用ください。そのほかのWeb ブラウザでは、正常に設定できない場合があります。
使用できるOS とWeb ブラウザは次のとおりです。

OS	Webブラウザ
Windows Vista/XP	Internet Explorer 7.0
Windows 2000/Me/98SE	Internet Explorer 6.0
Mac OS X	Safari 3.0/2.0

- 本商品を設定する場合には、本商品と設定用パソコンのみを接続することをお勧めします。パソコン以外のネットワーク機器のLANケーブルを取り外してください。
- 設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが起動していると、本商品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティソフトを停止させて本商品を設定してください。設定作業が終了してから再度起動させてください。

1　Internet Explorer または Safari を起動します。

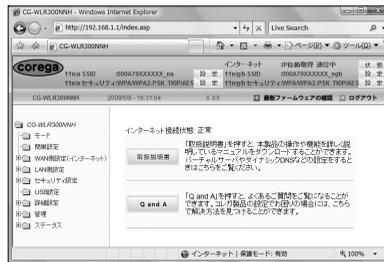
このとき 手順3の画面が表示された場合は、そのまま手順3へお進みください。

2　アドレス欄に「192.168.1.1」と入力し、Enter キーまたは return キーを押します。

入力します

- ルータ機能を「無効」に設定している場合や、本商品のIP アドレスを変更している場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。
- 【Windowsのみ】「簡単設定」を使ってルータ機能を「無効」に設定し、Internet Explorer のお気に入りに登録している場合、お気に入りの中から本商品（コレガ CG-WLR300NNH）をクリックします。

3 ユーザ名に「root」と入力し、パスワードは空欄のまま［ログイン］をクリックします。

4 設定画面が表示されます。

インターネットに接続できていない場合は「簡単設定」が表示されます。「簡単設定」の設定方法は、付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

設定画面の基本的な操作は、P.56「3.2 設定する」をご覧ください。

3.2　設定する

設定画面の基本的な操作を説明します。

1　画面左側のメニューをクリックします。

各設定画面が表示されます。

※画面は、「管理」をクリックした場合の例です。

2　必要な項目を設定します。

直接入力したり、プルダウンメニューやラジオボタンで選択したり、チェックボックスにチェックを付けたりして、必要な項目を設定します。

3　正しく設定したことを確認し、[設定] をクリックします。

［設定］をクリックすると、すぐに設定が有効になります。設定項目によっては、本商品が再起動することがあります。

・［設定］をクリックしたあとは設定を取り消せません。

・［設定］をクリックする前に設定前の状態に戻すには、［取消］または［戻る］をクリックするか、または画面左側のメニューをクリックします。

4　設定を終了するには、画面右上の「ログアウト」をクリックします。

3.3　ダブルチャンネルを設定する

本商品は「ダブルチャンネル」で20MHz幅のチャンネルを 2つに束ねて、「ショートガードインターバル」でガードインターバルを短くすることで300Mbps（理論値）の通信速度に対応します。

本機能を使用することで、近隣の無線 LAN ネットワーク（IEEE802.11a/g/b）の通信速度が低下することがあります。

3.3.1　動作環境について

300Mbps（理論値）の通信速度を実現するには、次の環境が必要です。

■ダブルチャンネルが利用できる無線アダプタ

セット品に付属の無線 LANアダプタ	CG-WLR300NNH-U（CG-WLUSB300AGN）※4
コレガの無線 LANアダプタ（PC カード（カードバス）子機）	CG-WLCB300AGN ※4 CG-WLCB300GNM CG-WLCB300GNS ※1 CG-WLCB144GNL ※2
コレガの無線 LANアダプタ（USB 子機）	CG-WLUSB300AGN ※4 CG-WLUSB300GNM CG-WLUSB300GNS ※1 CG-WLUSB300N ※1 CG-WLUSB2GNL ※2 CG-WLUSBNM ※3
コレガの無線イーサネットコンバータ	CG-WLCVR300AGN ※4

※　2009 年5 月現在の対応機種です。
新しく発売される製品については、コレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

※1　受信は300Mbps（理論値）、送信は150Mbps（理論値）に対応します。

※2　300Mbps対応版の場合に、300Mbps（理論値）に対応します。

※3　受信および送信は150Mbps（理論値）に対応します。

※4　IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）と IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）の両方に対応します。

3.3.2　ダブルチャンネルを設定する

■本商品（CG-WLR300NNH）を設定する

本商品のダブルチャンネルは、次の手順で設定します。

1　設定画面を表示します。

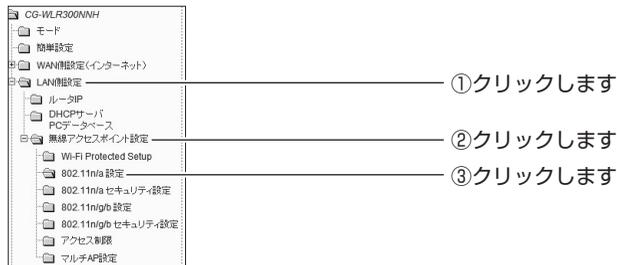
☞P.54「3.1　設定画面を表示する」

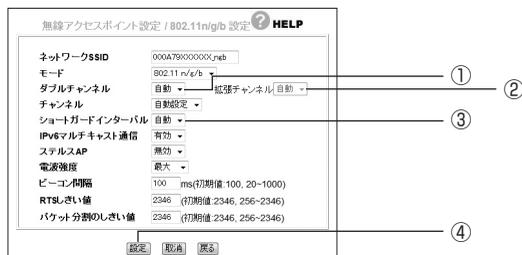
2　無線アクセスポイントの設定画面を表示します。

○ IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）の場合

「LAN 側設定」－「無線アクセスポイント設定」－「802.11n/g/b 設定」の順にクリックします。

○ IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）の場合

「LAN 側設定」－「無線アクセスポイント設定」－「802.11n/a 設定」の順にクリックします。

3 次のように設定します。

○ IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）の場合

①「ダブルチャンネル」で「自動」を選択します。

②「拡張チャンネル」が表示されることを確認します。

③「ショートガードインターバル」で「自動」を選択します。

④［設定］をクリックします。

「拡張チャンネル」は、使用する「チャンネル」に合わせて自動的に設定されます（手動では設定できません）。

○ IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）の場合

①「ダブルチャンネル」で「自動」を選択します。

②「拡張チャンネル」が表示されることを確認します。

③「ショートガードインターバル」で「自動」を選択します。

④［設定］をクリックします。

「拡張チャンネル」は、使用する「チャンネル」に合わせて自動的に設定されます（手動では設定できません）。

4　**設定画面更新後に、画面右上の「ログアウト」をクリックします。**

5　**電源コンセントから AC アダプタを抜き、1 分以上経過してから再び差し込みます。**

以上で、ダブルチャンネルの設定は完了です。

■無線 LAN アダプタを設定する

無線 LAN アダプタは、本商品に合わせて自動的に適切な速度に設定されます。「ダブルチャンネル」や「ショートガードインターバル」などの設定をする必要はありません。

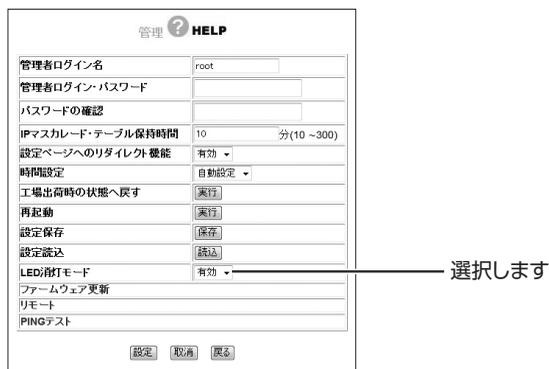
3.4　エコピタ LED 消灯モードを設定する

本体前面の LED ランプを常時消灯にしておくことで、夜間でもまぶしさが気にならず、消費電力も抑えられます。次の手順で設定してください。

1　**設定画面を表示します。**

☞P.54「3.1　設定画面を表示する」

2　**「管理」をクリックします。**

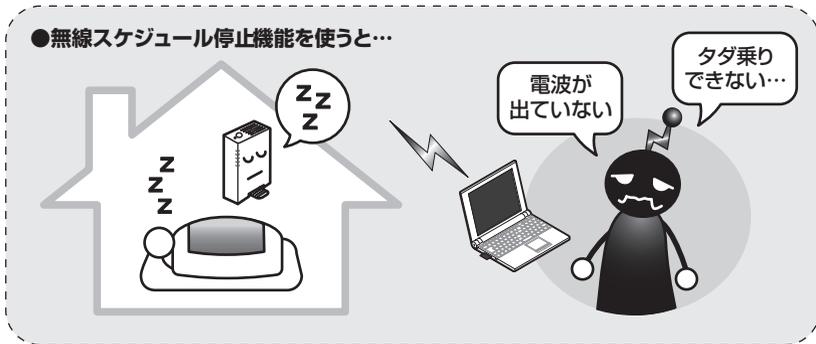
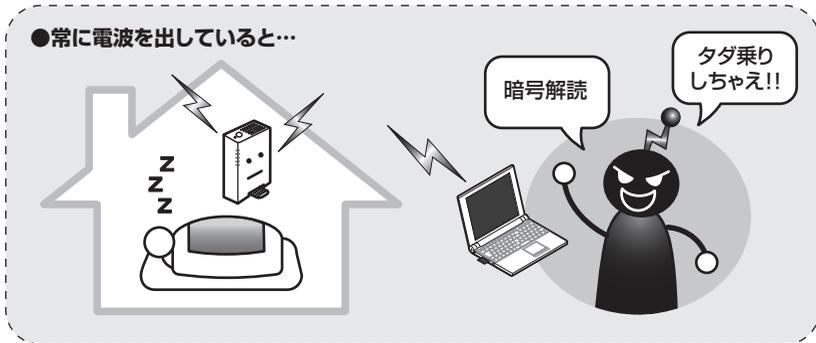
3　**「LED 消灯モード」で「有効」を選択します。**

以上で、エコピタ LED 消灯モードの設定は完了です。

エコピタ LED 消灯モードに設定すると、本体前面の LED が電源 LED（橙）とUSB ストレージ接続時の USB LED（緑）を残して、すべて消灯します。再起動など、一部の機能を除き LED は動作しません。

3.5　無線スケジュール停止機能を使う

■無線スケジュール停止機能とは？

今までの無線 LANルータは、無線LAN を使用していない時間帯も常に電波を出し続けているため、寝ているときや不在のあいだに無線から家庭内のネットワークに侵入されたり、電波をただ乗りされたりする心配がありました。

通常は、WPA2 や MAC アドレスフィルタなどの無線 LAN セキュリティを設定することで安心して無線 LAN を使用できますが、無線LAN を使用しない時間帯は無線機能自体を停止させることでさらに安全になります。また、無線 LANルータ自体の電源は切りませんので、無線 LAN 機能を停止していても、有線LAN で本商品に接続している機器から外部のサーバに公開するなどの動作には影響はありません。

3.5.1　無線スケジュール停止機能を設定する

無線スケジュール停止機能は、次の手順で設定します。

■スケジュールを登録する

はじめに無線 LAN を停止するスケジュールを登録します。

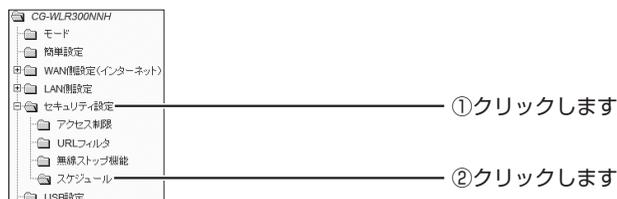
設定する項目は次のとおりです。

名前	15 文字以内（半角英数字および半角記号のみ） 例：schedule_1
曜日	毎日、日曜日～土曜日
開始時間	00:00 ～ 23:58（半角数字のみ） 例：01:00 ※「終了時間」より前の時刻を設定してください。
終了時間	00:01 ～ 23:59（半角数字のみ） 例：06:00 ※「開始時間」よりあとの時刻を設定してください。
コメント	20 文字以内（半角英数字および半角記号のみ） 例：Everyday_1:00-6:00

スケジュールを登録するには、表のすべての項目を設定する必要があります。

1　**設定画面を表示します。**

☞P.54「3.1　設定画面を表示する」

2　**「セキュリティ設定」－「スケジュール」の順にクリックします。**

3　スケジュールを登録します。

※画面は、毎日 AM1:00 ～ AM6:00 に設定した例です。

4　登録したスケジュールを確認します。

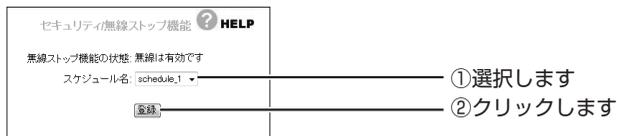
以上で、スケジュールを登録しました。

引き続き、P.65「■ スケジュールを選択する」で無線 LAN を停止するスケジュールを設定します。

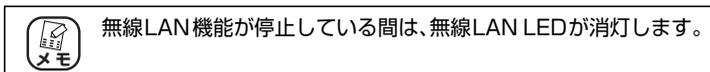
■スケジュールを選択する

登録したスケジュールを選択し、無線 LAN 停止機能を設定します。

1　「無線ストップ機能」をクリックします。

2　「スケジュール名」で登録したスケジュールを選択し、［登録］をクリックします。

3　登録したスケジュールを確認し、「有効」を選択します。

以上で、登録したスケジュールに従って、無線 LAN 機能が停止します。

無線LAN機能が停止している間は、無線LAN LEDが消灯します。

■無線スケジュール停止機能を一時的に無効にするには

次の手順でスケジュールを一時的に無効にすると、無線 LAN 機能を使用できます。

1　「無効」を選択します。

以上で、無線スケジュール停止機能が一時的に無効になり、無線 LAN 機能を使用できます。

■無線スケジュール停止機能を使用しなくなったときは

次の手順で無線スケジュール停止機能の設定を削除します。

1　「削除」をクリックします。

2　［OK］をクリックします。

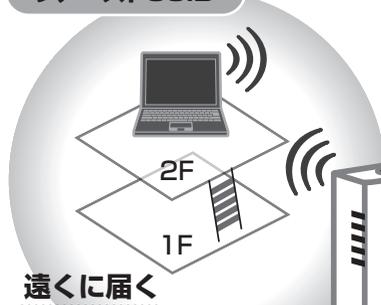
以上で、無線スケジュール停止機能の設定が削除されました。

3.6　802.11n/g/b と 802.11n/a を使い分ける

本商品の無線アクセスポイント機能は、IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）と IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）を同時に使用できます。IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）と IEEE802.11n(ドラフト)/a（5GHz 帯）には次のような特長があります。
用途に合わせてお使いください。

IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）はチャンネルによって法令で屋外使用が禁止されているなどの制限があります。詳しくは、P.8 「無線商品をご利用の際のご注意」をご覧ください。
また、使用チャンネルの設定などの詳しい設定方法は、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。

☞P.125 「4.4.10 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

802.11n/g/b（2.4GHz帯）
ファーストSSID
2F
1F
遠くに届く
セカンドSSID
ゲームに最適
802.11n/a（5GHz帯）
ファーストSSID
同じ部屋で快適

■ 802.11n/a（5GHz 帯）の場合

・電子レンジや Bluetooth などの電波干渉を受けない
・802.11a（W52/W53/W56）と互換性がある
同じ部屋で高速通信するには最適です。

■ 802.11n/g/b（2.4GHｚ 帯）の場合

・802.11g/b と互換性があり対応機器が多い
・伝送距離が長く、障害物にも強い
違う階・部屋で通信する場合に最適です。

■マルチ AP（セカンド SSID）の場合

・WEP のみに対応した機器を接続できる
・セキュリティの弱い WEP をＬAN から隔離できる
WEP のみ対応したゲームに最適です。
☞P.70「3.7　マルチ AP 機能を使う」

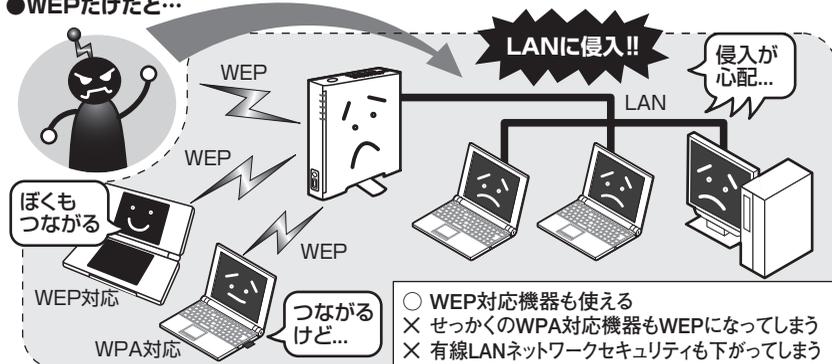
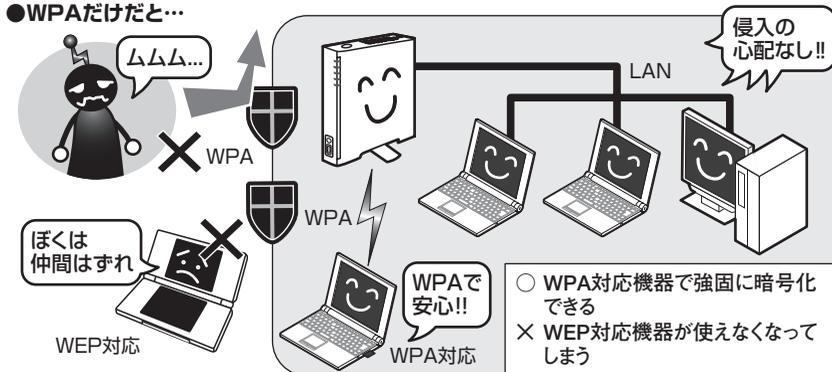
3

3.7　マルチ AP 機能を使う

本商品に搭載しているマルチ AP 機能について説明します。

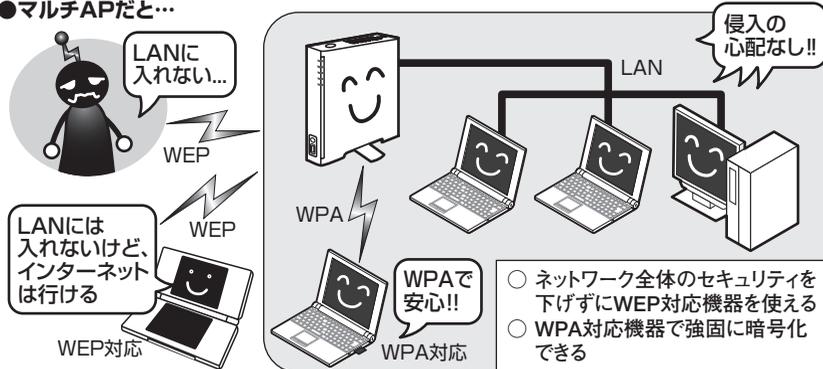
3.7.1　WEP のぜい弱性とマルチ AP 機能

「WEP（Wired Equivalent Privacy）」は、802.11b の頃から広く使われている暗号方式ですが、近年さまざまなぜい弱性が発見され、十分なセキュリティを維持できなくなっています。

現在より強固な「WPA（Wi-Fi Protected Access)」や「WPA2」が採用されていますが、WEP にしか対応しない機器がまだまだたくさん存在します。そのため、せっかく WPA に対応した機器を持っていても、WEP 対応機器を混在させるには無線 LAN セキュリティを下げる必要があり、不安を抱えていました。

「WEP 対応機器をインターネットに接続したいけど、ネットワーク全体のセキュリティは下げたくない！」そのような要望を満たすために、本商品は「マルチ AP 機能」という、SSID を１つ増やす機能を搭載しました。

3.7.2　マルチ AP 機能の利点

マルチ AP 機能では、通常のSSID（ファースト SSID）に加えて、セカンドSSIDを使用できます。
ファースト SSID では WPA2 の高度な暗号化を設定しつつ、セカンド SSID では WEP を設定できます。セカンド SSID はインターネット接続以外の通信を遮断しているため、LAN に侵入される心配はありません。LAN 全体のセキュリティを確保しながら、WEP 対応機器をインターネットに接続できます。

●マルチAPだと…

マルチ AP 機能は、WEP のみ対応するニンテンドーDS のような携帯ゲームなどでインターネットに接続する場合に最適です。

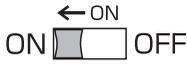
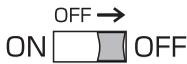
・本商品のルータ機能がオフの場合でも、マルチ AP 機能は使用できます。ただし、本商品の WAN ポートにルータ（またはルータ機能付きモデム）を接続する必要があります。

・セカンド SSID では UPnP 機能は使用できません。

・本商品のセカンド SSID の無線通信規格は、IEEE801.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）です。

3.7.3　マルチ AP 機能スイッチについて

マルチ AP 機能スイッチでマルチ AP 機能の状態を切り替えられます。マルチ AP 機能と、ファーストSSID ／セカンド SSID には次のような違いがあります。

マルチAP機能 スイッチの状態	SSID	インター ネット 接続	設定 画面 表示	LAN 接続	対応する無線LAN セキュリティ
← ON ON OFF	ファースト SSID	○	○	○	WPA2/WPA-PSK WPA2/WPA-EAP WPS WEP（64/128bit）
	セカンド SSID	○	×	×	WEP（64/128bit）
OFF → ON OFF	ファースト SSID	○	○	○	WPA2/WPA-PSK WPA2/WPA-EAP WPS WEP（64/128bit）

マルチ AP（セカンドSSID）に接続する場合は、お使いのゲーム機に合わせて、次の項目をご覧ください。

■マルチ AP（セカンド SSID）に、ニンテンドー DS・Wii を接続する場合

☞「ニンテンドー DS・Wii を接続する」（付属）

■マルチ AP（セカンド SSID）に、ニンテンドー DS・Wii 以外のゲーム機を接続する場合

☞**P.52**「2.7.2 マルチ AP（セカンド SSID）に接続する」

3.8　USB ストレージを共有する

本商品は USB ポートを搭載しています。USB ポートに USB ストレージ（USB 接続の外付けハードディスクなど）を接続して、ネットワークで共有できます。

本書では、Windows Vista/XP でネットワークドライブに接続する方法を説明しています。本機能の詳細な説明、および Windows 2000、Macintosh をお使いの場合の説明については、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。

☞P.125「4.4.10 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

いかなる原因・理由においても、本商品に接続した USB ストレージおよび内部のデータの保証はいたしません。USB ストレージ内のデータは、必ずほかのメディアにバックアップしてください。

3.8.1　USB ストレージ共有機能について

本商品の USB ストレージ共有機能は、次の環境に対応します。

■対応パソコン／ OS

対応するパソコン／ OS は、次の表のとおりです。

対応パソコン	対応OS
DOS/Vパソコン	Windows Vista/XP/2000※
Macintosh※	Mac OS X 10.4以降

※ Windows 2000 および Macintosh をお使いの場合は、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）で接続方法を説明しています。

☞P.125「4.4.10 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

■対応する USB 機器

USB 2.0/1.1 接続の外付け USB ストレージ

・USB ストレージ以外の機器（プリンタなど）は接続できません。
・1.5TByte までの容量に対応します。最新の動作確認済み機器はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。
・USB ハブでの複数台の接続には対応していません。
・USB 機器の電源は、セルフパワー（別途 AC アダプタなど）で供給してください。
・USB 延長ケーブル、CG-WLR300NNH-U に付属の USB フレキシブルケーブルは使用しないでください。USB ストレージは USB ポートに直接接続してください。

■対応するファイルシステム／ファイルサイズ

USB ストレージ共有機能は、次のファイルシステムとファイルサイズに対応します。

ファイルシステム	読み込み	書き込み
NTFS	○	×
FAT32	○	1ファイル4GByteまで
FAT16	○	1ファイル2GByteまで

複数のボリュームには対応していません。先頭のボリュームのみ読み書きできます。

USB ストレージは、あらかじめパソコンでフォーマットしておいてください。フォーマットの方法は、各 OS のヘルプをご覧ください。

■制限など

本商品の USB ストレージ共有機能には次の制限があります。

・共有する USB ストレージに接続できるパソコンは、次の表のとおりです。LAN 内からの接続のみに対応します。

パソコンの接続方法		接続の可否
有線LAN		○
無線LAN	ファーストSSID※	○
	セカンドSSID	×

※MACアドレスフィルタリングでアクセス制限の対象になっているパソコンからは接続できません。

・ユーザやグループの権限の設定には対応していません。USB ストレージの内容は、「Public」でネットワーク内に共有されます。

・ワークグループのネットワーク接続に対応します。初期設定は「WORKGROUP」です。パソコンのワークグループ名を「WORKGROUP」以外に設定している場合は、本商品のワークグループを変更してください。詳しくは、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。
☞ **P.125**「4.4.10 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

3.8.2　USB ストレージを接続する

次の手順で USB ストレージを接続します。

1　**USB ストレージの電源を入れます。**

※ USB メモリなどバスパワーに対応している製品は必要ありません。

2　**本商品の電源が入った状態で、本商品の USB ポートに USB ストレージを接続します。**

3　**USB ストレージが使用できる状態になると、USB LED が点灯します。**

以上で、USB ストレージの接続は完了です。

3.8.3　ネットワークドライブを割り当てる

OS ごとにネットワークドライブを割り当てる方法を説明します。

☞P.75 「■ Windows Vista の場合」
☞P.77 「■ Windows XP の場合」

■ Windows Vista の場合

Windows Vista でネットワークドライブを割り当てる方法を説明します。

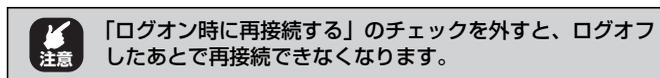
1　**[スタート] をクリックして、検索ボックスに「¥¥192.168.1.1」と入力し、Enter キーを押します。**

※画面は、本商品の IP アドレスが「192.168.1.1」の場合の例です。

2　「Public」を右クリックし、「ネットワークドライブの割り当て」をクリックします。

3　割り当てるドライブを選択し、[完了] をクリックします。

※画面は、Z ドライブに割り当てる場合の例です。

「ログオン時に再接続する」のチェックを外すと、ログオフしたあとで再接続できなくなります。

4　「Public」フォルダが表示されます。

以上で、ネットワークドライブの割り当ては完了です。

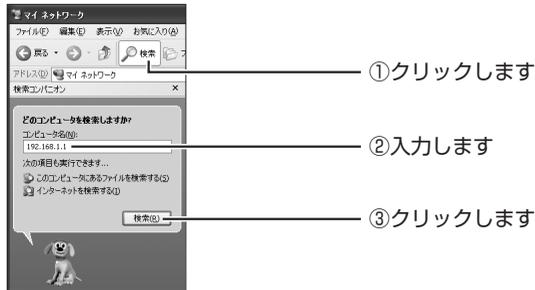
ファイルを読み書きするには、ネットワークドライブを表示します。

☞P.78 「3.8.4　ネットワークドライブを表示する」

■ Windows XP の場合

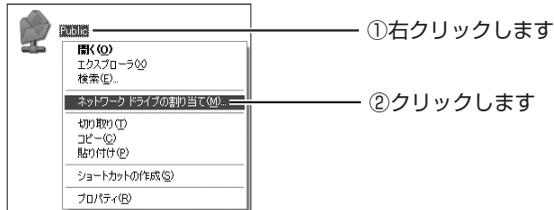
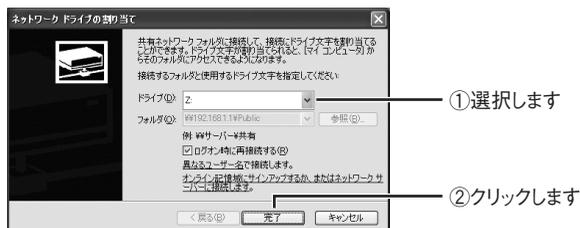
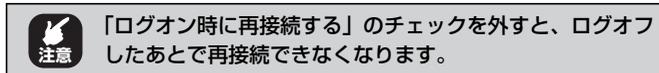
Windows XP でネットワークドライブを割り当てる方法を説明します。

1　［スタート］－「マイコンピュータ」の順にクリックし、「マイネットワーク」をクリックします。

2　ツールバーの「検索」をクリックし、左の「コンピュータ名」に「192.168.1.1」と入力して、［検索］をクリックします。

※画面は、本商品の IP アドレスが「192.168.1.1」の場合の例です。

3　検索された本商品をダブルクリックします。

4　「Public」を右クリックして、「ネットワークドライブの割り当て」をクリックします。

5 割り当てるドライブを選択し、[完了]をクリックします。

※画面は、Z ドライブに割り当てる場合の例です。

「ログオン時に再接続する」のチェックを外すと、ログオフしたあとで再接続できなくなります。

6 「Public」フォルダが表示されます。

以上で、ネットワークドライブの割り当ては完了です。

ファイルを読み書きするには、ネットワークドライブを表示します。

☞P.78 「3.8.4 ネットワークドライブを表示する」

3.8.4 ネットワークドライブを表示する

ネットワークドライブに割り当てた USB ストレージを表示します。

■ Windows Vista の場合

次の手順でネットワークドライブを表示します。

1 [スタート] −「コンピュータ」の順にクリックします。

2　**割り当てたドライブをダブルクリックします。**

以上で、ネットワークドライブに割り当てた USB ストレージにファイルを読み書きできます。

3

■ Windows XP の場合

次の手順でネットワークドライブを表示します。

1　**［スタート］－「マイコンピュータ」の順にクリックします。**

2　**割り当てたドライブをダブルクリックします。**

以上で、ネットワークドライブに割り当てた USB ストレージにファイルを読み書きできます。

3.8.5　USB ストレージを取り外す

USB ストレージを取り外すには、USB ボタンを使う方法と、設定画面を使う方法があります。

USB ストレージを取り外すときは、必ず次のどちらかの手順に従ってください。USB ストレージおよび内部のデータが破損するおそれがあります。

■USB ボタンで取り外す

次の手順で取り外します。

1　USB ボタンを 5 秒以上押して離します。

USB ボタンの周りにある USB LED が消灯します。

2　USB LED が消灯したことを確認してから、USB ストレージを取り外します。

以上で、USB ストレージの取り外しは完了です。

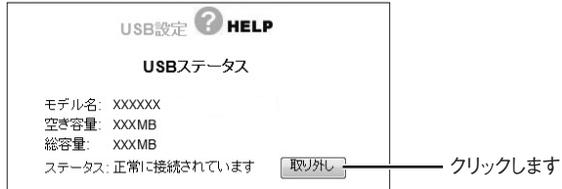
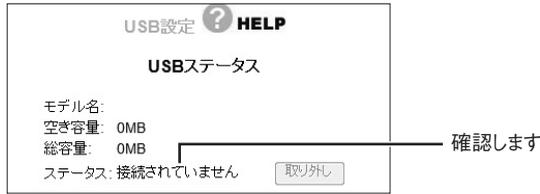
■設定画面で取り外す

次の手順で取り外します。

1　設定画面を表示します。

☞P.54 「3.1　設定画面を表示する」

2　「USB 設定」をクリックします。

3　［取り外し］をクリックします。

4　画面が更新されます。「ステータス」に「接続されていません」と表示されることを確認します。

5　USB LEDが消灯していることを確認し、USB ストレージを取り外します。

以上で、USB ストレージの取り外しは完了です。

第 4 章
トラブル解決と Q&A

この章では、トラブルの対処法やよくある質問について説明しています。

4.1 トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	「らくらく導入ガイド」、「お使いの手引き」（本書）で設定を再確認する 管理者などに問い合わせる

それでも解決できないときは…

STEP2	本章の「トラブル解決と Q&A」を確認する ☞ P.85 「4.2 本商品（CG-WLR300NNH）のトラブル」 ☞ P.113 「4.3 付属の無線 LAN アダプタのトラブル」 ☞ P.120 「4.4 よくあるご質問」

それでも解決できないときは…

STEP3	コレガホームページ（http://corega.jp/）の情報を活用する 本商品の「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）、最新情報、よくあるお問い合わせ、最新ファームウェア・ソフトウェアなどを提供しています。

それでも解決できないときは…

STEP4	コレガサポートセンタに問い合わせる 連絡先は本書の裏表紙をご覧ください。

4.2　本商品（CG-WLR300NNH）のトラブル

本商品（CG-WLR300NNH）について、よくあるトラブルとその対処方法を説明します。

4.2.1　電源が入らない

電源が入らないときは、AC アダプタのケーブルが断線していないか、AC アダプタが正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。
それでも電源が入らない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり、修理を依頼してください。

☞P.136「保証と修理について」

4.2.2　LED が点灯・点滅しない

電源 LED が橙色に点灯し、ほかの LED が消灯しているときは、「エコピタ LED 消灯モード」になっています。詳しくは、次の項目をご覧ください。

☞P.62「3.4　エコピタ LED 消灯モードを設定する」

4.2.3　設定画面が表示されない

本商品の設定画面が表示されないときは、次の項目を確認してください。

☞P.85「■セカンド SSID 以外で本商品に接続する」
☞P.86「■セキュリティソフトを停止する」
☞P.86「■ OS のファイアウォール機能を無効にする」
☞P.90「■ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認する」
☞P.92「■ Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認する」
☞P.94「■プロキシサーバを使用していないことを確認する」
☞P.100「■パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認する」

■セカンド SSID 以外で本商品に接続する

セカンド SSID（工場出荷時の設定は「CG-Guest」に設定されています）で設定された無線ネットワークでは本商品の設定画面を表示できません。
セカンド SSID に接続している場合は、ファースト SSID（工場出荷時の設定は本体側面の「ネットワーク名（SSID）」に記載されています）に接続し直すか、または LAN ケーブルで本商品に接続してください。

■セキュリティソフトを停止する

セキュリティソフトが動作していると、本商品を設定できないことがあります。本商品を設定するときは、一時的にセキュリティソフトの動作を停止させてください。本商品の設定が完了したら、セキュリティソフトの動作を再開してください。セキュリティソフトの停止方法、再開方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧いただくか、ソフトウェアメーカへお問い合わせください。パソコンのご購入時にセキュリティソフトがインストールされていた場合は、パソコンメーカへお問い合わせください。

■ OS のファイアウォール機能を無効にする

ファイアウォール機能の設定方法は、お使いの OS により異なります。

☞P.86 「○ Windows Vista の場合」

☞P.88 「○ Windows XP（SP2 以降）の場合」

○ Windows Vista の場合

次の手順で、OS のファイアウォール機能を無効にしてください。

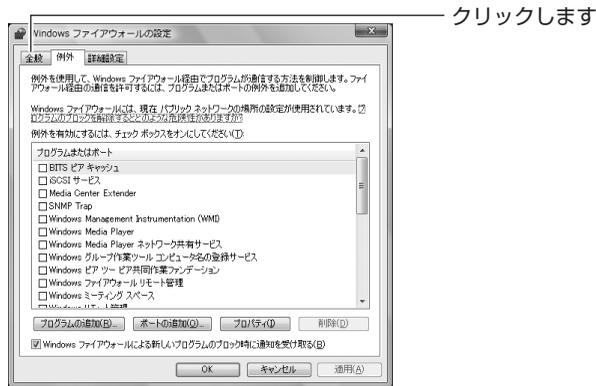
本商品の設定が完了したあとは、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

1　［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。

クラシック表示の場合は、「コントロールパネルホーム」をクリックすると手順 2 の画面が表示されます。

3　「ユーザーアカウント制御」画面で、［続行］をクリックします。

4　全般タブをクリックします。

5　「無効（推奨されません)」を選択して、［OK］をクリックします。

以上で、ファイアウォールが無効になりました。

○ Windows XP（SP2 以降）の場合

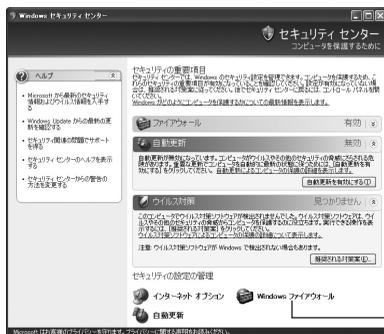
次の手順で、OS のファイアウォール機能を無効にしてください。

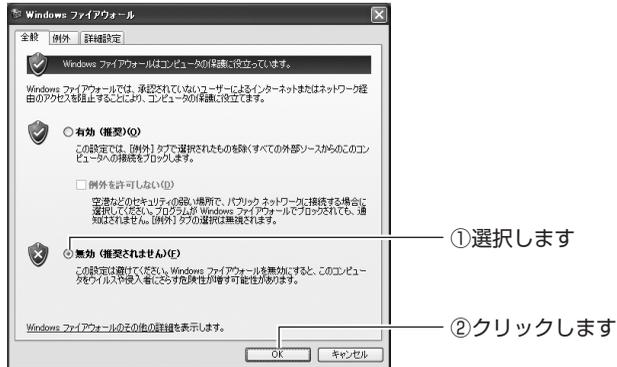
本商品の設定が完了したあとは、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

1 ［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「セキュリティセンター」をクリックします。

クラシック表示の場合は、「セキュリティセンター」をダブルクリックします。

3 「Windows ファイアウォール」をクリックします。

クリックします

4　「無効（推奨されません)」を選択して、[OK] をクリックします。

以上で、ファイアウォールが無効になりました。

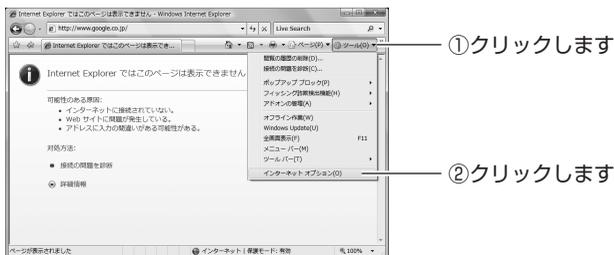
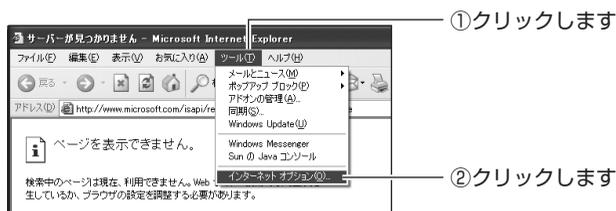
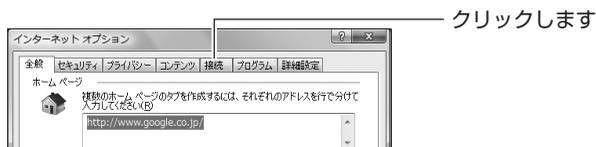
■ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認する

次の手順で、ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認してください。

プロバイダが提供している接続ツールなどがインストールされていると、正しく設定できないことがあります。その場合は、接続ツールをアンインストールしてください。

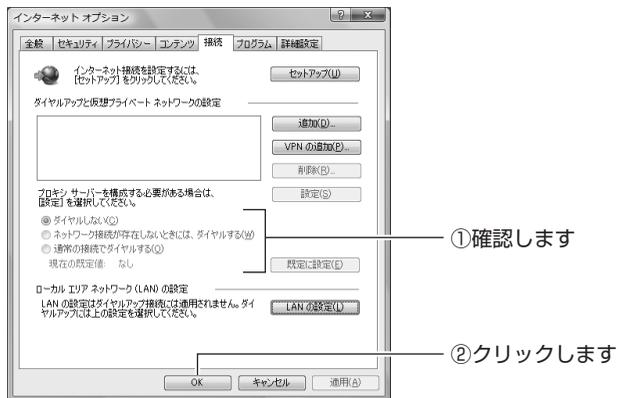
1 Internet Explorer を起動します。

2 「ツール」－「インターネットオプション」の順にクリックします。

○ Internet Explorer 7 の場合

○ Internet Explorer 6 の場合

3 接続タブをクリックします。

4 「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」を確認します。

「ダイヤルしない」が選択されているか、またはグレーアウトされて選択できないことを確認して、［OK］をクリックします。

○「ダイヤルしない」が選択されている場合

○グレーアウトされている場合

以上で、ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認できました。

Q&A

■ Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認する

次の手順で、Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認してください。

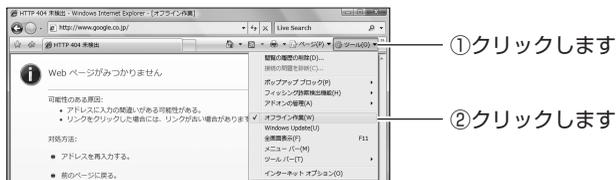
1 Internet Explorer を起動します。

2 タイトルバーを確認します。

オフラインになっていると、タイトルバーに［オフライン作業］と表示されます。

3 「オフライン作業」のチェックを外します。

○ Internet Explorer 7 の場合

「ツール」－「オフライン作業」の順にクリックして、チェックを外します。

○ Internet Explorer 6 の場合

「ファイル」－「オフライン作業」の順にクリックして、チェックを外します。

4　タイトルバーを確認します。

「オフライン作業」のチェックが外れ、タイトルバーに［オフライン作業］が表示されていないことを確認します。

［オフライン作業］が表示されません

チェックが外れています

以上で、Internet Explorer がオフラインになっていないことが確認できました。

■プロキシサーバを使用していないことを確認する

プロキシサーバの設定方法は、お使いの OS によって異なります。

☞P.94 「○ Windows の場合」

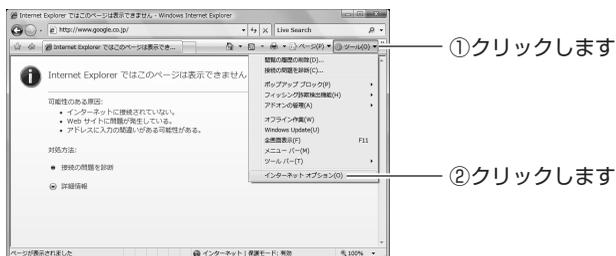
☞P.96 「○ Macintosh の場合」

○ Windows の場合

次の手順で、プロキシサーバを使用していないことを確認してください。

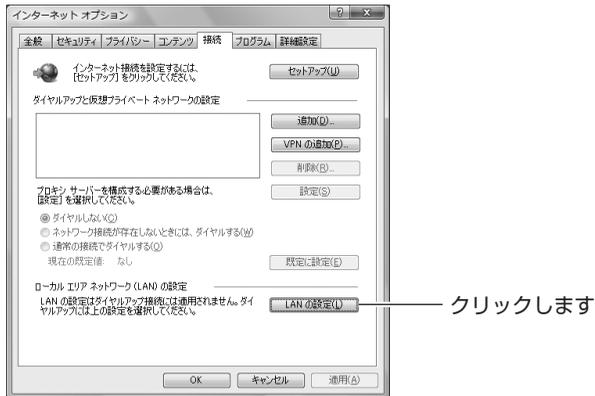
1 Internet Explorer を起動します。

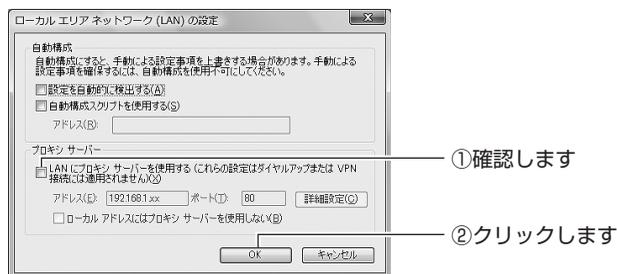
2 「ツール」－「インターネットオプション」の順にクリックします。

○ Internet Explorer 7 の場合

○ Internet Explorer 6 の場合

3　接続タブをクリックします。

4　［LAN の設定］をクリックします。

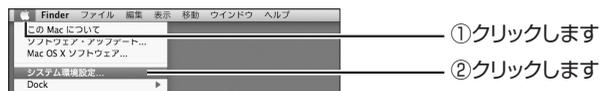
Q&A

5 「プロキシサーバー」を確認します。

「LAN にプロキシサーバーを使用する」にチェックが付いていないことを確認して、[OK] をクリックします。

6 手順 4 の画面が表示されます。[OK] をクリックします。

以上で、プロキシサーバを使用していないことが確認できました。

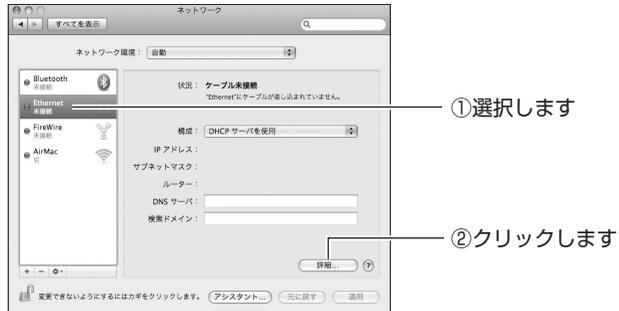
○ Macintosh の場合

次の手順で、プロキシサーバを使用していないことを確認してください。

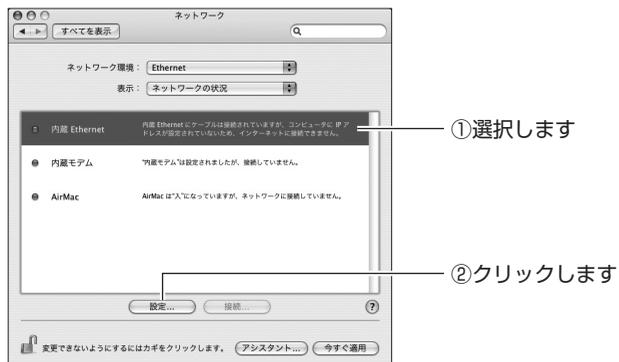
1 「アップルメニュー」−「システム環境設定」の順にクリックします。

2 「ネットワーク」をクリックします。

3 ［詳細］または［設定］をクリックします。

○ Mac OS X 10.5 の場合

「Ethernet」を選択し、［詳細］をクリックします。

○ Mac OS X 10.4 の場合

「内蔵 Ethernet」を選択し、［設定］をクリックします。

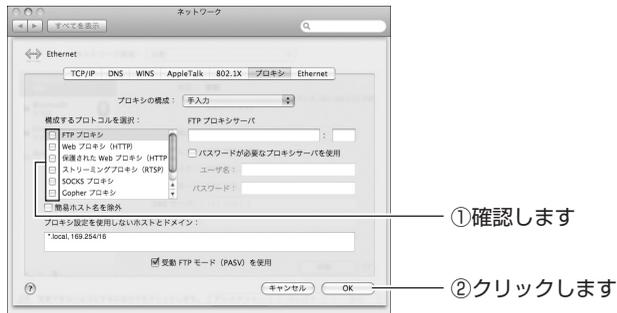
Q&A

4 「プロキシ」をクリックします。

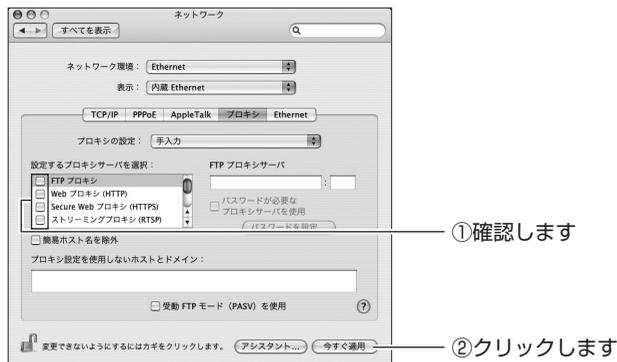
○ Mac OS X 10.5 の場合

○ Mac OS X 10.4 の場合

5　プロキシサーバにチェックが付いていないことを確認します。

○ Mac OS X 10.5 の場合

「構成するプロトコルを選択」の項目でチェックが付いていないことを確認して、［OK］をクリックします。
チェックが付いている場合はチェックを外し、［OK］をクリックします。

○ Mac OS X 10.4 の場合

「設定するプロキシサーバを選択」の項目でチェックが付いていないことを確認して、［今すぐ適用］をクリックします。
チェックが付いている場合はチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。

以上で、プロキシサーバを使用していないことが確認できました。

■パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認する

IP アドレスの設定方法は、お使いの OS により異なります。

☞P.100 「○ Windows Vista の場合」

☞P.103 「○ Windows XP の場合」

☞P.106 「○ Windows 2000 の場合」

☞P.107 「○ Windows Me/98SE の場合」

☞P.110 「○ Macintosh の場合」

○ Windows Vista の場合

次の手順で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。

1 ［スタート］－「ネットワーク」の順にクリックします。

2 「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3 「状態の表示」をクリックします。

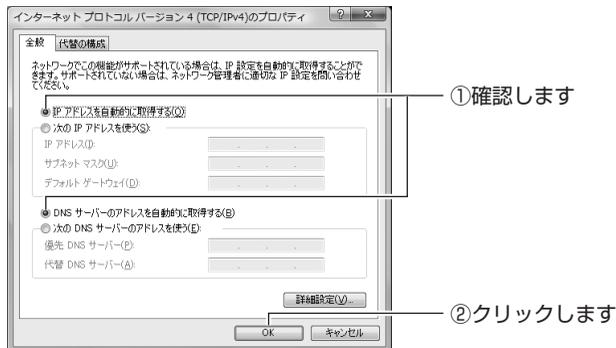
4 ［プロパティ］をクリックします。

5 「ユーザーアカウント制御」画面で、［続行］をクリックします。

6 「インターネットプロトコルバージョン４(TCP/IPv4)」を選択して、［プロパティ］をクリックします。

Q&A

7　設定を確認します。

「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認して、［OK］をクリックします。

8　［閉じる］をクリックします。

9　［閉じる］をクリックします。

クリックします

以上で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることが確認できました。

Q&A

○ Windows XP の場合

次の手順で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

1　［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

クリックします

クラシック表示の場合は、「カテゴリの表示に切り替える」をクリックすると手順２の画面が表示されます。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。

4 「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

5 「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択し、[プロパティ］をクリックします。

6 設定を確認します。

「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていること を確認して、［OK］をクリックします。

7 手順５の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

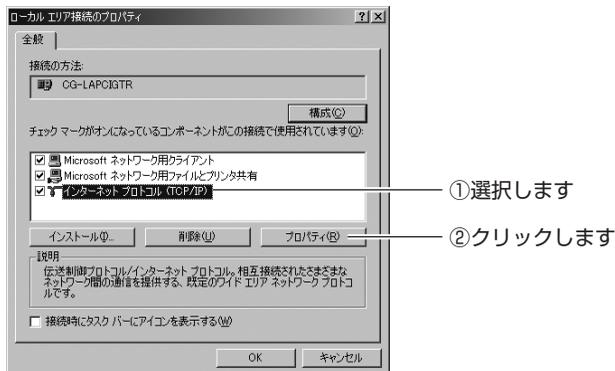
以上で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることが確認できました。

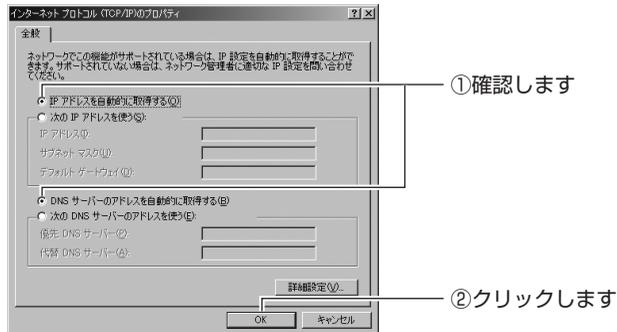
○Windows 2000の場合

次の手順で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。

1 ［スタート］－「設定」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順にクリックします。

2 「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

3 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択して、［プロパティ］をクリックします。

4　設定を確認します。

「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていること を確認して、［OK］をクリックします。

5　手順3の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。

以上で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることが確認できました。

Q&A

○ Windows Me/98SE の場合

次の手順で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。

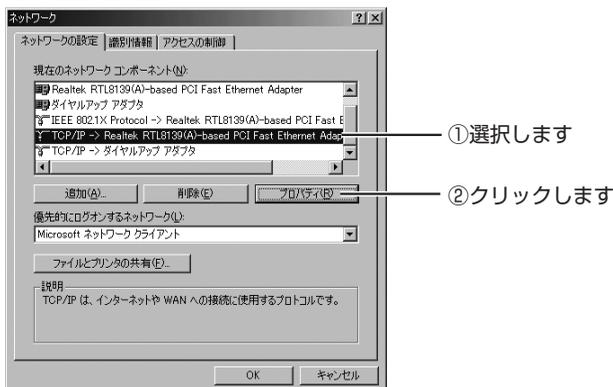
※画面は Windows Me の例です。

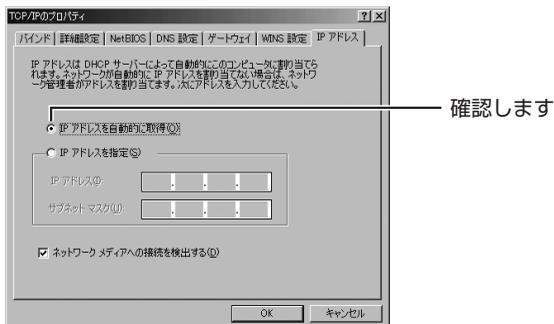
1　［スタート］－「設定」－「コントロールパネル」の順にクリックします。

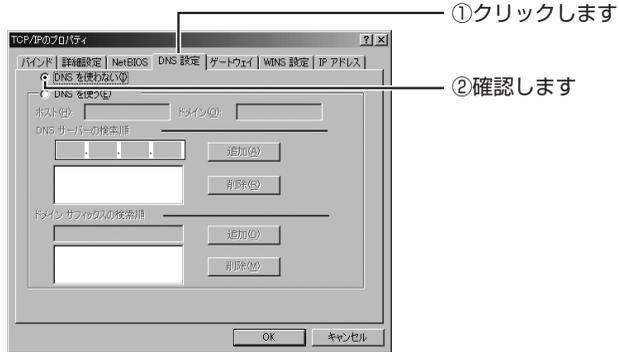
2　「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。

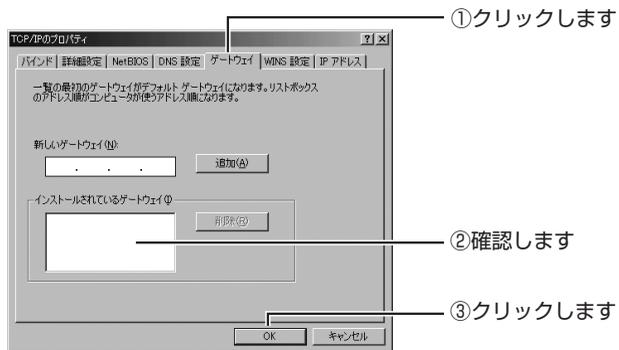
この画面が表示されない場合は、手順 3 に進みます。

3 「ネットワーク」をダブルクリックします。

4 「TCP/IP -> （お使いのネットワークアダプタ名）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

5 IP アドレスの設定を確認します。

「IP アドレスを自動的に取得」が選択されていることを確認します。

6 DNS の設定を確認します。

DNS 設定タブをクリックし、「DNS を使わない」が選択されていることを確認します。

7 ゲートウェイの設定を確認します。

ゲートウェイタブをクリックし、「インストールされているゲートウェイ」が空白になっていることを確認して、[OK] をクリックします。

8 手順４の画面が表示されますので、[OK] をクリックします。

以上で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることが確認できました。

○ Macintosh の場合

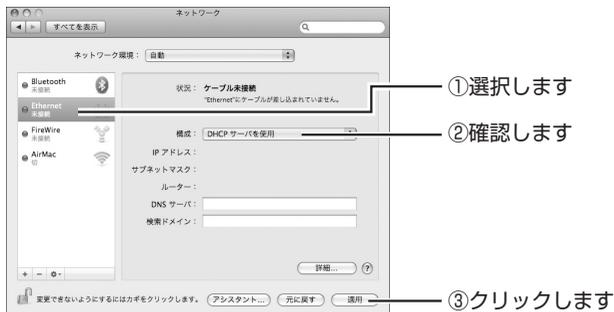
次の手順で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

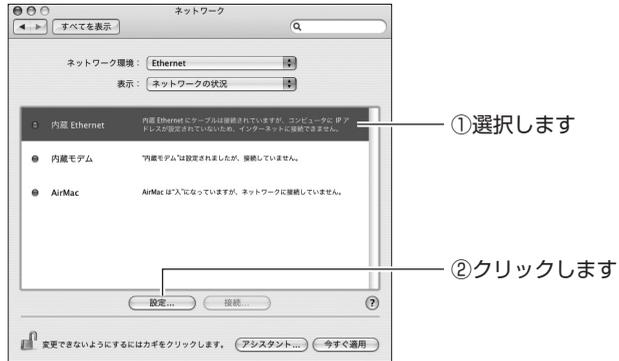
1 「アップルメニュー」－「システム環境設定」の順にクリックします。

2 「ネットワーク」をクリックします。

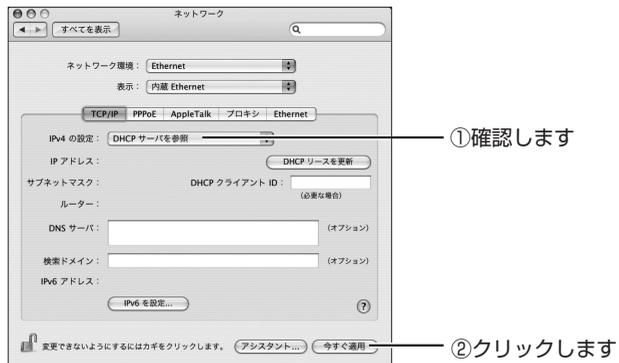
3 DHCP サーバの使用を確認します。

○ Mac OS X 10.5 の場合

「Ethernet」を選択し、「DHCP サーバを使用」が選択されていることを確認します。
「DHCP サーバを使用」が選択されていない場合は、「DHCP サーバを使用」を選択し、［適用］をクリックします。

○ Mac OS X 10.4 の場合

①「内蔵 Ethernet」を選択し、［設定］をクリックします。

②「IPv4 の設定」で、「DHCP サーバを参照」が選択されていることを確認します。
「DHCP サーバを参照」が選択されていない場合は、「DHCP サーバを参照」を選択し、［今すぐ適用］をクリックします。

以上で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることが確認できました。

Q&A

4.2.4 無線LAN内蔵パソコンで接続できない

■Windows XP用更新プログラム「KB893357」をインストールする（Windows XPのみ）

無線LAN内蔵パソコンで、Windows XPに標準搭載されているワイヤレスネットワークから接続するときに、「次のネットワークにログインするのに必要な証明書が見つかりませんでした」と表示された場合は、Windows XP用更新プログラム「KB893357」をインストールしてください。
検索サイトで「KB893357」で検索して、Microsoft社のホームページでダウンロードします。詳しくは、OSのサポート元（パソコンメーカなど）にお問い合わせください。

■内蔵無線LANがWPAに対応していることを確認する

本商品の無線LANセキュリティが初期状態（WPA/WPA2-PSK）で、更新プログラムなどをインストールしても接続できない場合は、内蔵無線LANが「WPA」のセキュリティに対応していることを確認してください。詳しくは、パソコンメーカにお問い合わせください。

■内蔵無線LANの接続手順を確認する

本書に記載している内蔵無線LANの接続手順は、Windows および Macintosh 標準の接続方法です。お使いのパソコンによっては、メーカ独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。その場合は、P.48 「2.6 そのほかのネットワーク機器を無線LANで接続する」、およびお使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、本商品に接続してください。詳しくは、パソコンメーカにお問い合わせください。

4.3　付属の無線 LAN アダプタのトラブル

CG-WLR300NNH-U に付属の無線 LAN アダプタ（CG-WLUSB300AGN）について、よくあるトラブルとその対処方法を説明します。

4.3.1　無線 LAN 内蔵パソコンにインストールしてしまった

無線 LAN 内蔵パソコンをお使いの場合は、CG-WLR300NNH-U に付属の無線 LAN アダプタ（CG-WLUSB300AGN）をインストールする必要はありません。パソコンに内蔵の無線 LAN 機能をお使いください。
「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧になり、ドライバを削除（アンインストール）してください。

☞P.125 「4.4.10 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

4.3.2　ドライバのインストール中にキャンセルしてしまった

ドライバをインストールしている途中でキャンセルをしてしまうと、ドライバが不完全な状態になり、無線 LAN アダプタを使用できません。
インストールの途中でキャンセルをしてしまった場合は、パソコンを再起動して、インストールの手順をもう一度はじめからやり直してください。それでもインストールを完了できなかった場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

4.3.3　取り付けたらパソコンが動作しなくなった

お使いの環境によってインストールに時間がかかる場合がありますので、そのまましばらくお待ちください。
5 分ほど待っても画面が切り替わらない場合は、パソコンの電源を切り、無線 LAN アダプタをパソコンから取り外して、インストールをはじめからやり直してください。
詳しくは、付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

4.3.4　無線 LAN アダプタを取り付けたままリカバリしてしまった

無線LAN アダプタを取り付けたまま Windows をリカバリしてしまうと、無線 LAN アダプタの情報がパソコンに残ってしまいます。次の手順でインストールをやり直してください。

☞P.114 「■ Windows Vista の場合」

☞P.115 「■ Windows XP の場合」

☞P.118 「■ Windows 2000 の場合」

■ Windows Vista の場合

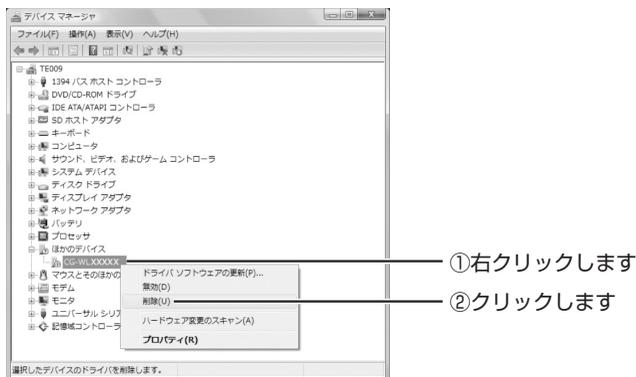
1 無線 LAN アダプタをパソコンに取り付けます。

2 ［スタート］をクリックし、「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

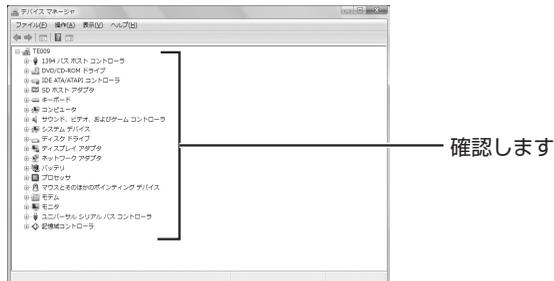
3 「デバイスマネージャ」をクリックします。

4 「ユーザーアカウント制御」画面で、［続行］をクリックします。

5 正しく認識されていない機器を削除します。

「ほかのデバイス」の下に表示された機器を右クリックし、「削除」をクリックします。

表示される機器の名称は、お使いの機器や環境によって異なります。

6　［OK］をクリックします。

7　削除されたことを確認します。

8　無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

9　無線 LAN アダプタをインストールし直します。

詳しくは、付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

■ Windows XP の場合

1　無線 LAN アダプタをパソコンに取り付けます。

2　［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

3 ハードウェアタブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。

4 正しく認識されていない機器を削除します。

「その他のデバイス」の下に表示された機器を右クリックし、「削除」をクリックします。

表示される機器の名称はお使いの機器や環境によって異なります。

5 ［OK］をクリックします。

6 削除されたことを確認します。

7 無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

8 無線 LAN アダプタをインストールし直します。

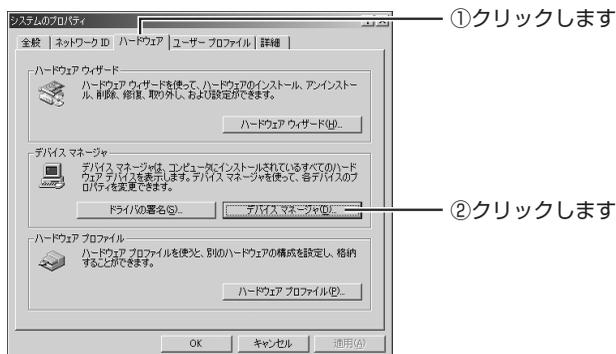
詳しくは、付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

Q&A

■ Windows 2000 の場合

1 無線 LAN アダプタをパソコンに取り付けます。

2 「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

3 ハードウェアタブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。

4 正しく認識されていない機器を削除します。

「その他のデバイス」の下に表示された機器を右クリックし、「削除」をクリックします。

表示される機器の名称は、お使いの機器や環境によって異なります。

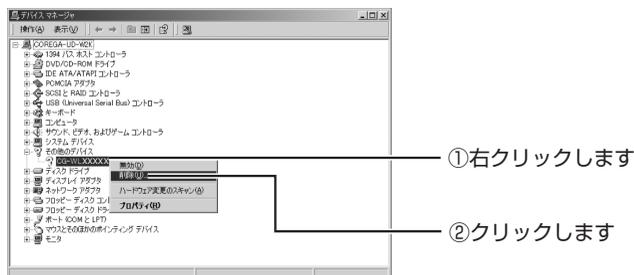
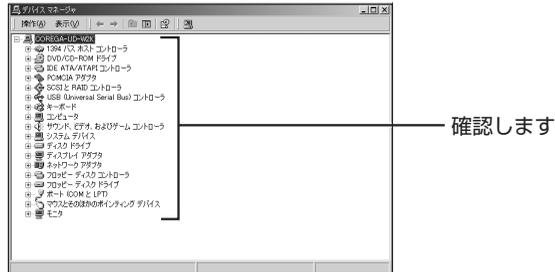
5　［OK］をクリックします。

6　削除されたことを確認します。

7　無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

8　無線 LAN アダプタをインストールし直します。

詳しくは、付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

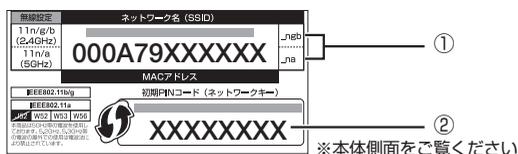
Q&A

4.4　よくあるご質問

ここでは、本商品または無線 LAN アダプタ以外でよく寄せられる質問について記載しています。

4.4.1　無線 LAN セキュリティを設定したい

本商品は、工場出荷時に次の無線LAN セキュリティが設定されています。

設定項目	設定内容（本商品の初期値）	
ネットワーク名（SSID、ESSID）	①2.4GHz帯	000A79XXXXXX_ngb
	①5GHz帯	000A79XXXXXX_na
共有キー（WPA共有キー）	②XXXXXXXX	
認証方式	WPA/WPA2-PSK	
暗号方式	自動（AES/TKIP）	

※本体側面をご覧ください

マルチ AP 機能を有効にしている場合は、ファースト SSID のほかにセカンド SSID を使用できます。セカンド SSID の工場出荷時の無線 LAN セキュリティは次のとおりです。

設定項目	設定内容
ネットワーク名（SSID、ESSID）	CG-Guest
認証方式	Open System
暗号方式	なし

☞P.70「3.7 マルチ AP 機能を使う」

無線 LAN セキュリティの設定は、本商品の設定画面で変更できます。詳しくは、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。

☞P.125「4.4.10 もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

4.4.2　無線 LAN 内蔵パソコンを接続したい

本商品と無線 LAN で接続するには、パソコンに内蔵されている無線 LAN 機能が IEEE802.11n（ドラフト）/g/b（2.4GHz 帯）または IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）に対応している必要があります。詳しくは、次の項目をご覧ください。

☞P.35「2.3　Windows Vista を内蔵無線 LAN で接続する」

☞P.39「2.4　Windows XP を内蔵無線 LAN で接続する」

☞P.45「2.5　Macintosh を内蔵無線 LAN（AirMac）で接続する」

4.4.3　複数台のパソコンを接続したい

本商品には複数台のパソコンやネットワーク機器を接続できます。詳しくは、次の項目をご覧ください。

☞P.31「　第２章　複数のネットワーク機器を接続する」

Q&A

4.4.4　IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）接続が切断される

IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）の「W53」と「W56」は、気象レーダーとの干渉を避けるために DFS（Dynamic Frequency Selection: 動的電波周波数選択）による次のような制限があります。

- 各チャンネルの通信開始前に、１ 分間レーダー波を検出します。その間は通信できません。
- 通信中にレーダー波を検出した場合、自動的にチャンネルを変更します。その間は通信が中断されます。

工場出荷時の IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz 帯）の設定は「屋内」（W52/W53/W56）設定です。電波法により 5.2GHz、5.3GHz 帯の電波は屋外で使用することが禁止されています。本商品の 5GHz 帯の電波を屋外で使用する場合は「使用エリア」を「屋外」にしてください。詳しい設定方法は、詳細設定ガイド（PDF マニュアル）をご覧ください。

☞P.125「4.4.10　もっと詳しい取扱説明書を入手したい」

4.4.5　IEEE802.11n（ドラフト）/a（5GHz帯）で接続できない

お使いの無線 LAN アダプタ、または無線 LAN 内蔵パソコンが IEEE802.11a（5GHz 帯）に対応していることをご確認ください。また、本商品の IEEE802.11a（5GHz 帯）は従来の「J52」のチャンネルに対応していません。詳しくは、お使いの無線LAN アダプタ、または無線LAN 内蔵パソコンの取扱説明書をご覧になるか、各メーカにお問い合わせください。

4.4.6　本商品を工場出荷時の状態に戻したい

本商品を工場出荷時の状態に戻す手順は、次のとおりです。

1　すべての LAN ケーブルを抜きます。

2　電源コンセントから AC アダプタを抜き、1 分以上経過してから再び差し込みます。

電源コンセントに ACアダプタを差し込み、電源 LED が点灯し、ステータス LED が点滅→消灯に変わると、本商品は正常に起動しています。

3　本商品が起動するまでに 1 分ほどかかります。

起動が完了するまでしばらくお待ちください。

4　初期化ボタンを押します。

本商品の電源が入っている状態で、本体背面の初期化ボタンを 15 秒以上押し続けます。
初期化ボタンを押し始めてから5秒ほどでステータスLEDがゆっくり点滅して、さらに 5 秒ほどでステータス LED が速く点滅します。速く点滅していることを確認してから、初期化ボタンを離します。

- 初期化ボタンは、クリップなどの硬くて先の細いものを使用して押してください。
- エコピタ LED 消灯モード設定時は、ステータス LED が点滅しません。初期化ボタンを 15 秒以上押し続けたあと、初期化ボタンを離してください。

5　LED を確認します。

電源 LED が点灯し、ステータスLED が点滅→消灯に変わり、本商品が正常に起動したことを確認します。

本商品が起動するまでに 1 分ほどかかります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

以上で、本商品が工場出荷時の状態に戻ります。

4.4.7　無線 LAN アダプタを取り外したい

CG-WLR300NNH-U に付属の無線 LAN アダプタは、次の手順で取り外します。

■ Windows Vista の場合

1　画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックし、「CG-WLUSB300AGN を安全に取り外します」をクリックします。

2　「このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

3　無線 LAN アダプタを取り外します。

以上で、無線 LAN アダプタの取り外しは完了です。

■ Windows XP/2000 の場合

1　画面右下の通知領域にあるアイコンを右クリックし、「終了」をクリックします。

無線クライアントユーティリティ画面の右上のをクリックした状態では、無線クライアントユーティリティは終了していません。

2　画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックし、「CG-WLUSB300AGN を安全に取り外します」（Windows 2000 の場合は「～を停止します」）をクリックします。

Q&A

3 「‘CG-WLUSB300AGN’は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、［OK］をクリックします。

4 無線 LAN アダプタを取り外します。

以上で、無線 LAN アダプタの取り外しは完了です。

4.4.8　無線 LAN アダプタの設定画面を表示させたい

画面右下の通知領域にある アイコンをダブルクリックすると、無線 LAN アダプタの設定画面を表示できます。

4.4.9　無線 LAN アダプタをアンインストールしたい

CG-WLR300NNH-U に付属の無線 LAN アダプタのアンインストール方法は、付属のユーティリティディスク（CD-ROM）収録の「無線クライアントユーティリティ　詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧ください。

☞P.127「■ ユーティリティディスク（CD-ROM）から見る（セット品のみ）」

4.4.10 もっと詳しい取扱説明書を入手したい

本商品の詳しい使い方を記載した取扱説明書（PDF マニュアル）は、次の方法で入手できます。

商品名	取扱説明書	入手方法
CG-WLR300NNH	CG-WLR300NNH 詳細設定ガイド	コレガホームページ
CG-WLR300NNH-U	CG-WLR300NNH 詳細設定ガイド	コレガホームページ
	CG-WLUSB300AGN 無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド	ユーティリティディスク（CD-ROM）または コレガホームページ

☞P.126「■ コレガホームページからダウンロードする」
☞P.127「■ ユーティリティディスク（CD-ROM）から見る（セット品のみ）」

- 「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をご覧いただくには、お使いのパソコンに Adobe Reader がインストールされている必要があります。Adobe Reader がインストールされていない場合は、Adobe のサイトからダウンロードしてインストールしてください。Adobe Reader は無料でダウンロードできます。
- 「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をダウンロードするには、インターネットに接続する必要がありますので、インターネットへの接続に問題がないことをご確認ください。
- お使いの環境によっては、Web ブラウザの中に PDF ファイルが表示される場合があります。その場合は、[保存]（フロッピーディスクの形をしたボタン）をクリックすると、「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をパソコンに保存できます。
- 予告なくコレガホームページのコンテンツを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■コレガホームページからダウンロードする

「CG-WLR300NNH 詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）または「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）は、次の手順でダウンロードしてご覧ください。

・予告なくコレガホームページのコンテンツを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

・「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）はユーティリティディスク（CD-ROM）にも収録されています。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレス欄に「http://corega.jp/」（「」は不要です）と入力して Enter キーまたは return キーを押します。

3 「商品情報」で「無線 LAN」を選択します。

4 お使いの商品名を選択し、「ダウンロード」をクリックします。

5 ダウンロードします。

「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）または「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択します。

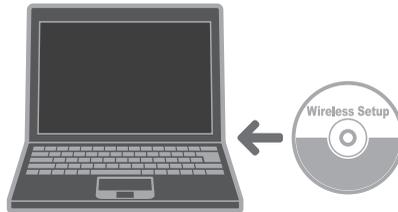
以上で、ダウンロードは完了です。

保存した「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）または「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）をダブルクリックしてご覧ください。

■ユーティリティディスク（CD-ROM）から見る（セット品のみ）

「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）は、付属のユーティリティディスク（CD-ROM）に収録されています。次の手順でご覧ください。

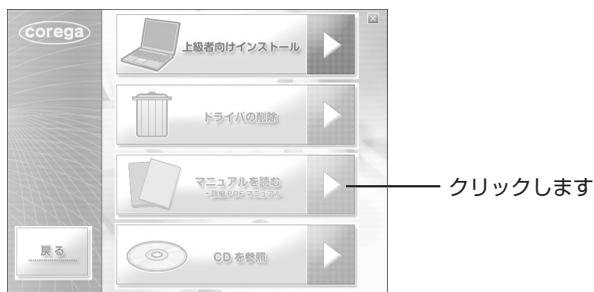
1　**ユーティリティディスク（CD-ROM）をパソコンにセットします。**

Windows XP/2000 の場合は、手順４に進みます。

2　**【Windows Vista のみ】「Setup.exe の実行」をクリックします。**

3　**【Windows Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面で、「許可」をクリックします。**

Q&A

4　[オプション] をクリックします。

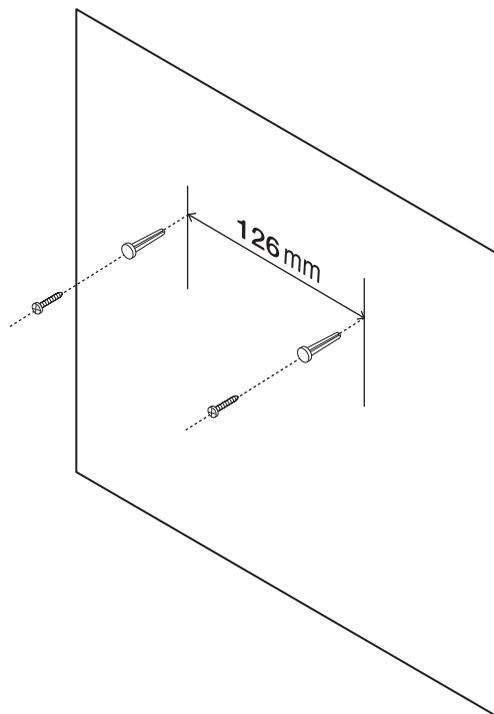
5　[マニュアルを読む－詳細 PDF マニュアル] をクリックします。

以上で、「無線クライアントユーティリティ　詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）が表示されます。

付録

壁掛け用ネジセットを取り付ける

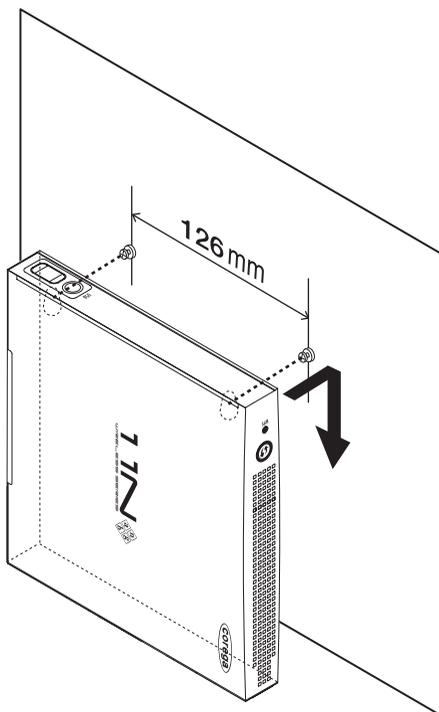
本商品は付属の壁掛け用ネジセットを使用して、壁面へ取り付けられます。

1　壁にネジを埋め込みます。

壁掛け用ネジ穴の間隔で、付属の壁掛け用ネジセットのネジ（2本）を壁などに埋め込みます。ネジは最後まで埋め込まず、ネジ頭を約 6mm 残します。

石膏ボードやベニヤなど、中空になっていてネジ穴が埋め込みづらい場合は、壁掛け用ネジセットのプラスチックアンカ（2 個）を併用します。ネジを埋め込む位置に、キリやドリルで穴を開けておき、プラスチックアンカをかなづちで軽く叩いて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカがぴったり入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎると、がたつきの原因になり、落下による破損やけがの原因になるおそれがあります。

2　本商品のゴム足を取り外します。

3　本商品を壁に取り付けます。

本体の壁掛け用ネジ穴を壁に埋め込んだネジ頭に合わせます。本体を下にスライドさせて、しっかり固定します。

本商品やケーブルの重みによって本商品が落下しないように、設置場所に取り付けたあとで確実に固定されていること を確認してください。

仕様一覧

■ CG-WLR300NNH 仕様

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）/IEEE802.11a/ IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66/STD-T71
	WAN	IEEE802.3ab（1000BASE-T）/ IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）
	LAN	IEEE802.3ab（1000BASE-T）/ IEEE802.3u（100BASE-TX）/ IEEE802.3（10BASE-T）/IEEE802.3x（Flow Control）
	USB	USB 2.0/1.1準拠
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V、Macintosh
対応OS		Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000/Me/98SE、 Mac OS X（10.5/10.4）
推奨ブラウザ		Internet Explorer 7.0/6.0、Safari 3.0/2.0
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11n（ドラフト）/a（W52/W53）] 5.18GHz～5.32GHz（中心周波数表示） [IEEE802.11n（ドラフト）/a（W56）] 5.50GHz～5.70GHz（中心周波数表示） [IEEE802.11n（ドラフト）/g/b] 2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11n（ドラフト）/a（W52/W53）] 8ch（36/40/44/48/52/56/60/64ch） [IEEE802.11n（ドラフト）/a（W56）] 11ch（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch） [IEEE802.11n（ドラフト）/g/b] 13ch（1～13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11n（ドラフト）] 300Mbps（ショートガードインターバル/ダブルチャンネル時（最大）） [IEEE802.11a/g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、 DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure（アクセスポイントモード）
	アンテナ形式	内部アンテナ×2
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11:ID（文字列）による識別）、WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 WPA-EAP（エンタープライズ: IEEE802.1X認証）、 WPA2-EAP（エンタープライズ: IEEE802.1X認証）、 TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む）、 ステルスAP（SSID名隠蔽、ANY拒否）、 MACアドレスフィルタリング、 ワイヤレスパーティション（無線端末<=>有線端末、 無線端末<=>無線端末間通信の有効/無効）

WAN仕様	規格	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、 Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×1ポート（MDI/MDI-X自動認識）
LAN仕様	規格	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、 Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×4ポート（全ポートMDI/MDI-X自動認識）
USB仕様	規格	USB 2.0/1.1準拠
	ポート	USBシリーズA（4ピン）メス×1
電源仕様 （ACアダプタ）	定格入力電圧	AC100V（50/60Hz）
	定格入力電流	800mA
最大消費電力		13.3W
環境条件	動作時	温度0～40℃／湿度5～90%（結露なきこと）
	保管時	温度−20～60℃／湿度5～95%（結露なきこと）
外形寸法		160（W）×153（D）×28（H）mm 本体のみ（突起部を含まず）
質量		310g 本体のみ

■工場出荷時設定

管理者設定	ログイン名	root
	パスワード	なし
ネットワーク設定	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
無線LAN ファーストSSID 基本設定 （802.11n/g/b、 802.11n/a共通）	通信モード	Infrastructure
	SSID	本体側面「ネットワーク名（SSID）」に記載
	チャンネル	自動設定
	認証方式	WPA/WPA2-PSK
	暗号方式	AES/TKIP
	WPA共有キー	本体側面「初期PINコード（ネットワークキー）」に記載
無線LAN セカンドSSID 基本設定	通信モード	Infrastructure
	SSID	CG-Guest
	チャンネル	自動設定
	認証方式	なし
	暗号方式	なし
ルータ機能スイッチ		ON
マルチAP機能スイッチ		ON

■CG-WLUSB300AGN 仕様

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）/IEEE802.11a/IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66/STD-T71
	PCインタフェース	USB 2.0/1.1準拠
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V
対応OS		Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11n（ドラフト）/a（W52/W53）] 5.18GHz～5.32GHz（中心周波数表示） [IEEE802.11n（ドラフト）/a（W56）] 5.50GHz～5.70GHz（中心周波数表示） [IEEE802.11n（ドラフト）/g/b] 2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11n（ドラフト）/a（W52/W53）] 8ch（36/40/44/48/52/56/60/64ch） [IEEE802.11n（ドラフト）/a（W56）] 11ch（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch） [IEEE802.11n（ドラフト）/g/b] 13ch（1～13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11n（ドラフト）] 300Mbps（ショートガードインターバル/ダブルチャンネル時（最大）） [IEEE802.11a/g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、 DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure/Ad-Hoc
	アンテナ形式	プリントアンテナ×2
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11:ID（文字列）による識別）、 WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 WPA-EAP（エンタープライズ: IEEE802.1X認証）、 WPA2-EAP（エンタープライズ: IEEE802.1X認証）、 TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む）、 IEEE802.1X-WEP（ダイナミックWEP）
電源仕様	供給方法	USBインタフェースから供給（バスパワー）
	定格入力電圧	DC5V
	最大消費電流	490mA
環境条件	動作時	温度0～40℃／湿度5～90%（結露なきこと）
	保管時	温度−20～60℃／湿度5～95%（結露なきこと）
外形寸法		29（W）×14（D）×78（H）mm 本体のみ（キャップ含まず）
質量		19g 本体のみ（キャップ含まず）

■工場出荷時設定

通信モード	Infrastructure
チャンネル	自動設定
暗号化	無効

保証と修理について

■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。

本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

· 弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

· 修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。

· 「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。

· 商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。

· 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

· 修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格が記載されていますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。
アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

本商品は、GNU General Public License Version 2に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundationが定めたGNU General Public License Version 2の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証もしません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU 一般公有使用許諾書（GNU General Public License）」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

2009年　5月　初版
2011年　3月第二版

【コレガ FAX サポートセンタ　045-476-6294】

お問い合わせ用紙　※ CG-WLR300NNH シリーズ専用お問い合わせ用紙

お電話にてお問い合わせをいただいた場合、製品の仕様上、環境や現象などを正確に把握して、問題を解決するまでにお時間がかかる場合がございます。お手数ですが、なるべく FAX・メールサポートをご利用いただきますようお願いします。

お問い合わせ日：　　　　年　　月　　日

コレガサポートセンタにご質問される場合、お問い合わせ商品に関する以下の情報をご記入ください。

会社名		**部署名**	
フリガナ		**ご購入先**	
ご担当者名			
ご連絡先	TEL： 携帯電話：	FAX：	

商品を複数台お使いの場合はその旨ご記入ください。

商品名（型番）		**ファームウェアバージョン**	
シリアル番号	(S/N) □□□□□□□□□□□□□□□□　Rev.□□		

以下にご利用のネットワーク構成やご利用環境をご記入ください。

以下にご質問内容をご記入ください（□にチェックを付けてください）。

□トラブル　（□常に発生する　　□特定の動作をすると発生する　　□不定期に発生する）
□設定方法　（□初期など　　□購入後）

□別紙あり（ログデータ、設定画面、書ききれない場合などある場合は、添付してください）

―　このページをコピーしてお使いください　―

メールサポートも承っておりますのでご検討ください　http://corega.jp/faq/

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

■商品に関するご質問は･･･

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかの方法でお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL をご覧ください。

http://corega.jp/faq/

FAX　045-476-6294
電話　045-476-6268

〈受付時間〉

10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）

※サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。
This product is supported only in Japanese.

※電話が混み合っている場合は、メールサポートおよび FAX サポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- 商品名
- シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- お名前、フリガナ
- 連絡先電話番号、FAX 番号
- 購入店
- 購入日付
- お使いのパソコンの機種
- OS
- 接続構成
- お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）

PRINTED WITH SOY INK　本書は再生紙を使用しています。